

No. 99 2020.8

農工通信

The Graduates' Association of
Tokyo University of Agriculture and Technology



一般社団法人

東京農工大学同窓会

<https://tuat-dousokai.org/>

TAT

同窓会長挨拶	1
理事長挨拶	2
学長に就任して	3
一般社団法人東京農工大学同窓会第2回定時総会	4
同窓会役員等体制と支部長及び連絡員表	11
叙勲受章にあたり 小畑 秀文	12
退職にあたり 大野 弘幸、梅田 倫弘、岡山 隆之、向後 雄二、 白井 淳資、土屋 俊幸、藤井 義晴、藤川 浩、 大里 耕司、中川 正樹	13
2019年度同窓会学生援助事業報告	17
部会・支部・クラス会だより	18
掲示板	30
事務局だより	33

■ 表紙の絵

「夢見る色」

大学時代は植生管理を専攻していました。実習や調査で野山をめぐった日々が懐かしいです。当時は同定のために植物の細部を観察していましたが、それが今ではモチーフの観察に変わりました。水彩画講座でも、自然科学の知識を交えてお教えすると生徒さんもより興味をもって意欲的に制作に取り組めるようです。農工大での学びがこのように生かされ、母校への感謝は尽きません。

表紙絵には薔薇と牡丹を描きました。花卉の枚数が多い薔薇も、バラ科の特徴、5弁の花びらが基本という点を意識すると形を捉えやすくなります。ピンク色をメインにした鮮やかな配色、にじみを生かしたタッチで、夢見心地なイメージに仕上げってみました。



表紙絵：豊田明日香（地生H20）

表紙題字：沢野 勉（農化S32）

■ 会長挨拶 ■

同窓会長 栗原 績（農工S42）



2019年6月、一般社団法人東京農工大学同窓会 第一回定時総会にて同窓会長を拝命し、早1年が経過いたしました。

会長就任後、11月の副会長懇談会・部会長会、2月の学長と卒業生との懇談会には参加しましたが、ご案内頂いた令和初の3月の卒業式、4月の入学式は残念ながら、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で中止となりました。

昭和38年入学、42年卒業の私にとりまして、50数年振りとなる卒業式・入学式への出席を楽しみにしておりましたが、新型コロナウイルスの猛威は想像を絶するものでした。

卒業生・修了生の皆様は、東京農工大学で学ばれた成果を活かして逆境を跳ね返し、明るい未来への第一歩を踏み出されたことでしょう。

今後のご活躍を期待しております。

また、入学生の皆様は新たなスタートがきれず、現在も困難な毎日を送られていることと存じますが、元気に乗り越えて行かれることを期待しております。

このような中で、東京農工大学が全国に先駆け、アルバイト収入等が減少し生活が困窮した学生に、大学独自の給付型奨学金制度を創設したとの報道があり、遠隔地の同期生からも喜びの声が寄せられました。大学当局の素早い対応に学生の皆様もさぞ安心されたことと存じます。

全国の同窓会員の皆様におかれましても、今回の新型コロナウイルスの感染拡大で、大変な状況になっておられることと存じます。

静岡県においても、各種の会合が延期・中止となり3月の支部総会も中止、3月以降予定され

た各支部総会もほとんど中止・延期のようです。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のための緊急事態宣言により、学校の一斉休校、在宅勤務・テレワークの実施、密閉・密接・密集の3密を避ける生活様式の徹底などが求められました。

このような状況がいつまで続くか不明ですが、同窓会員の皆様のご健勝ご活躍をご祈念申し上げます。

このような状況下で、同窓会の令和2年度第2回定時総会も、出席者の移動リスク軽減と三密状態を避けるため最小限の参加者とし、東京近郊在住の代議員による総会とし、今秋に、副会長懇談会・部会長会、支部長会と合わせ臨時総会を開催し、定時総会の議案について質問説明の機会を設けますので、よろしく願いいたします。

また、大学では千葉一裕新学長を中心にいろいろ検討されており、新型コロナウイルス感染症にともなう、東京農工大学基金を活用した継続的な修学支援への皆様のご寄附等、同窓会にも協力要請されております。

同窓会の目的は、会員相互の親睦と共に母校の発展に寄与することであり、同窓会員の皆様の変わらぬご支援ご協力をお願いいたします。

■ 理事長挨拶 ■

理事長 千年 篤（農学S58）



今般の新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、会員の皆様のなかにはご自身、ご家族のご健康またはお仕事等において厳しい事態に直面なされている方もいらっしゃるのではと拝察いたします。該当なされる方々におかれましては、衷心よりお見舞い申し上げます。

去る6月20日に第2回定時総会が開催されました。事前に代議員の皆様から審議事項に対する決議書のご提出ならびに報告事項に対する質問・意見を頂いたうえで、会長以下、少数の在京代議員の方々にご出席頂くかたちで実施いたしました。法人化前の計55回に及ぶ総会を含め、これまでの60年を超える本同窓会の歴史のなかで極めて異例な総会となりました。総会では、代議員の選出方法に関する規則改正が承認されました。平成30年10月に一般社団法人としてスタートを切った直後の昨年1月に実施した代議員選挙の結果を踏まえ、本同窓会に相応しい代議員の選出方法について、会長・副会長の選出方法も含め、昨年来、池谷事務局長を中心に、理事会、副会長懇談会・部会長会等において議論を慎重に重ね、さらに各部会・支部からご意見を賜りながら改正案を詰めてきました。なお、会長・副会長の選出方法の改正については、早急に理事会で取りまとめ、11月に開催予定の臨時総会において報告させて頂く予定です。

総会に限らず、本同窓会の活動は今年度、大きな変更を余儀なくされております。部会、支部の役員の方々には新たなご負担をお掛けしていると存じます。このような難しい状況のなか、変わらぬご尽力、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。今後とも部局・支部会と連絡を密に取り合い同窓会活動を進めてゆく所存です。引き続き何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、いまキャンパス内では、「三密」回避の遵守を原則として、対面形式の授業は実験・演習等の一部の科目に限られ、サークル活動も限定的に実施されています。本年4月に就任された千葉一裕学長（農化院S58年）新体制のもと、農工大は全国の国立大学に先駆けて、経済的困窮にある学生を対象にした緊急支援奨学金給付を行いました。本学の支援策についてはテレビ等でも報道されましたので、ご覧になられた会員の方もいらっしゃると思います。とはいえ、本学の緊急支援奨学金ならびに全国民を対象とした「特別定額給付金」、文科省による「学びの継続給付金」等の政府による支援も行われていますが、保護者（特に自営業の方）の収入減、本人のアルバイト収入の大幅減などの影響を受けて、留学生を含む生活要支援学生への対応は万全とはいえません。また大学予算に限りがあり、さらなる大学独自の支援は難しい状況にあります。

つきましては、同窓会と大学が協力して、会員の皆様に広く寄附を募ることとしました。実際、本学の緊急支援策の報道直後、複数の会員の方々から、学生支援のための寄附をしたいというご意見も賜りました。以上の本学の状況をご理解頂き、ご無理のない範囲で、是非ご協力頂ければ幸いです。

今回の件を梃子に、大学執行部に率直に物申すという適切な距離を保ちながらも、本学ならびに本同窓会が共に発展していくための協力体制をより強固にできればと思っております。具体的なあり方や取組みについては、多様性、実効力を増した理事会を通して検討していく所存です。

会員の皆様には、引き続き、ご支援、ご協力ならびに忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

■ 学長に就任して ■

東京農工大学長 千葉 一裕



東京農工大学の第14代学長として令和2年4月1日に就任いたしました。本学出身者として初めて学長を務めることとなりましたことは、ここに同窓会関係の皆様にご挨拶させていただくに際しまして、あらためまして大きな責任を感じる次第です。

私が東京農工大学農学部農芸化学科（当時）に入学したのは43年前。その頃からの思い出を綴ろうとすると、当時の学生時代のことが次々に頭をよぎります。私としては入学以来、自分の将来を決めるような貴重な出来事が沢山詰まった大学生活を送ることができましたことは、とても幸せであったと思います。日々の講義や実験・実習だけではなく、学部時代のサークル活動を通じて、毎週のように府中から小金井のキャンパスへも移動していましたので、今でも懇意にしている工学部出身の友人も沢山います。当時からどこの学部、学科に所属しているかなどお互いに何も意識することなく、友人との付き合いの中では、それぞれ自分がどんな人間であるかが一番大事なことでした。そこで培った友との関係が基盤となり、やがて他者の個性を尊重し、自己の独創性を発揮することの大切さに気づくきっかけになったのかもしれませんが。当然のことながら、大学生の頃は自信のあるものなど殆どなく、未来への目標も漠然としたものだったように思います。そのような時期だからこそ、やがて研究室に所属してはじめて出会う研究活動（私の場合は有機化学）は、私にとって大きな出来事でした。突き詰めていけば自分しかできないことや自分の力で解明で

きることもある、そして自分には友達とは違うものがここにはあるのだということを実感できた、最初の経験であったかと思います。

私は大学とは、人がそのときにしかチャンスのない友人や先生との出会いの場となることが重要な存在意義であると思っています。自由な語らいのなかで、何もない自分に気づきながらも夢中になれることに会うこと、その結果何かに到達した経験や、同じように道を探る人の気持ちを理解できるようになることがどれほど貴重なことか、今あらためてその思いを強めます。これからも、そのようなキラキラとかがやく大切な時間と空間を学生たちと共有し、未来に繋げて行きたいと思っております。

私も同窓生の一人として、皆様のご支援をいただきながら東京農工大学の発展に精一杯力を尽くしたいと思いますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

一般社団法人東京農工大学同窓会 第2回定時総会

■日時：令和2年6月20日（土）13：30～14：30 ■場所：府中キャンパス
 ■総会出席者：10名 決議書提出者132名 合計142名（総会構成員総数199名 定足数100名）

第2回定時総会は、6月20日（土）府中キャンパスで開催された。新型コロナウイルス感染症対策として、今回の定時総会は、下記の形式で開催した。

- ・議題を限定。
- ・会長と本学に勤務している代議員9名合計10名の代議員で開催。
- ・上記以外の代議員は、あらかじめ通知された決議事項について書面又は電磁的方法を以て表決する。
- ・秋に臨時の総会を開催し、定時総会の議題について質問・説明の機会を設ける。

定時総会の開催にあたって、桑原副理事長から、出席者が10名・決議書提出者が132名で定足数を超え定時総会が成立した旨の報告があった。栗原会長から、出席いただいた方々に対するお礼と、有意義な討論のお願いの挨拶があった。

引き続き、桑原副理事長から、定時総会の議長については、定款第18条に基づき栗原会長が務める旨の説明があった後、議事に入った。

議事

審議事項：1 議事録署名人選出（案）の件

千年理事長から、議事録署名人選出（案）の説明があり、審議の結果、賛142名・否0名で原案通り承認され定款20条により、栗原会長と帖佐代議員・有馬代議員が議事録署名人になった。

審議事項：2 2019年度 貸借対照表（案）及び損益計算書（正味財産増減計算書）（案）の件

報告事項：① 2019年度 事業報告の件

報告事項：② 2019年度 監査報告の件

上記案件は関連するため、一括して審議及び報告がなされた。

千年理事長から、2019年度 貸借対照表（案）【別記1】、損益計算書（正味財産増減計算書）（案）【別記2】2019年度事業報告【別記3】の提案説明があった。また、加藤監事から2019年度同窓会の監査について、適正に行われている旨の報告があった。

審議の結果、審議事項：2が、賛141名・否1名で承認され、報告事項①②が了承された。

審議事項：3 規則の改正の件（代議員選挙に関する規則のみ）

千年理事長から、規則の改正について提案説明があり、審議の結果、「代議員選出方法に関する規則」【別記4】「代議員候補者の選定に関する申し合わせ」【別記5】「立候補代議員に関する申し合わせ」【別記6】が、賛142名・否0名で承認された。

審議事項：4 選挙管理委員選任の件

千年理事長から、選挙管理委員選任（案）【別記7】について提案説明があり、審議の結果、賛142名・否0名で承認された。

報告事項：③令和2年度 事業計画の件

千年理事長から、令和2年度 事業計画に【別記8】について説明があり、了承された。

報告事項：④令和2年度 収支予算の件

千年理事長から、令和2年度 収支予算【別記9】について説明があり、了承された。

その他の件

なし

【別記1】 2019年度 貸借対照表 (案)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	44,780,428	47,156,650	-2,376,222
現 金	108,502	18,876	89,626
当座預金	27,074,165	29,416,292	-2,342,127
普通預金	17,597,761	17,721,482	-123,721
定期預金	0	0	0
流動資産合計	44,780,428	47,156,650	-2,376,222
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	45,000,000	40,000,000	5,000,000
普通預金	226,500	5,226,500	-5,000,000
投資有価証券	284,773,500	284,773,500	0
基本財産合計	330,000,000	330,000,000	0
(2) 特定資産			
八王子分収林育成林木	0	32,877,400	-32,877,400
特定目的事業積立資産	0	0	0
退職給付費用引当資産	1,250,000	0	1,250,000
特定資産合計	1,250,000	32,877,400	-31,627,400
(3) その他固定資産			
什器備品	0	0	0
投資有価証券	0	0	0
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	331,250,000	362,877,400	-31,627,400
資産合計	376,030,428	410,034,050	-34,003,622

科 目	当年度	前年度	増 減
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	0	0
前受金	0	0	0
預り金	53,285	71,161	-17,876
仮受金	0	0	0
流動負債合計	53,285	71,161	-17,876
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,250,000	0	1,250,000
固定負債合計	1,250,000	0	1,250,000
負債合計	1,303,285	71,161	1,232,124
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	32,877,400	-32,877,400
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	32,877,400	-32,877,400
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	374,727,143	377,085,489	-2,358,346
(うち基本財産への充当額)	330,000,000	330,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	374,727,143	409,962,889	-35,235,746
負債及び正味財産合計	376,030,428	410,034,050	-34,003,622

【別記3】 2019年度事業報告

(1) 第1回定時総会の開催

2019年6月22日(土)小金井キャンパスにて第1回定時総会を開催した。

議事内容は、1)平成30年度事業報告(案)、2)平成30年度収支決算報告(案)、3)平成30年度監査報告、4)2019年度事業計画、5)2019年度収支予算、6)会長・副会長・理事・監事の選任について、7)特別会員の推薦報告について、8)その他の件、9)新旧会長・新旧理事長の挨拶

(2) 2019年度各種会議の開催

2019年5月、11月(府中キャンパス)及び2020年3月(メール審議)に理事会を、2019年11月に副会長懇談会・部会長会(府中キャンパス)を、2019年6月に臨時の支部長会議(小金井キャンパス)を開催した。

(3) 同窓会組織の強化及び活性化

- 1) 一般社団法人にふさわしい形で、安定した運営が行えるよう検討を加えた。
- 2) 部会・支部・職域組織の同窓意識の向上と会員交流の促進を図る方策として「農工通信」の年2回発行を継続し、学外編集委員と共に内容の充実に努めた。
- 3) 運営委員・監事・事務局長の部会・支部への派遣も引続き行った。大学役員の派遣依頼にも応えられるよう大学との連携を図った。
- 4) 部会・支部活動の活性化のための支援の方策を検討した。
- 5) 卒業生に対して、大学が発行する証明書の発行手数料を援助した。
- 6) 同好会活動の充実に努めた。
- 7) 部会・支部のホームページ立ち上げに協力するとともに、同窓会WEBページにある「会員交流広場」、「ギャラリー」等の活用法及び充実にについて検討を重ねた。

【別記2】 損益計算書（正味財産増減計算書）

（単位：円）

科 目	当年度	前年度 (平成30年10月1日～ 平成31年3月31日)	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	943,703	470,000	473,703
基本財産受取利息	943,703	470,000	473,703
基本財産売却益	0	0	0
運用財産収入	34,375,105	25,236,697	9,138,408
入会金	4,055,000	3,325,000	730,000
年会費	1,044,000	402,000	642,000
終身会費	2,610,000	1,460,000	1,150,000
賛助会費	24,160,000	19,820,000	4,340,000
利息	283	9,397	-9,114
寄附金	159,822	300	159,522
雑収入	2,346,000	220,000	2,126,000
経常収益計	35,318,808	25,706,697	9,138,408
(2) 経常費用			
運用財産支出	33,738,459	17,970,504	15,767,955
事業費	18,090,039	10,620,910	7,469,129
動静調査費	555,614	313,681	241,933
会報発行費	10,038,420	4,977,749	5,060,671
HP管理作成費	478,700	165,136	313,564
部会・支部活動費	5,613,400	1,781,800	3,831,600
母校援助費	0	2,444,788	-2,444,788
新入正会員歓迎費	1,098,430	749,620	348,810
分収林管理費	33,140	7,830	25,310
資料整備費	272,335	180,306	92,029
減価償却費	0	0	0
会議費	4,076,133	1,778,733	2,297,400
総会会議費	3,673,648	0	3,673,648
理事会会議費	138,184	144,728	-6,544
副会長懇談会(部会長会)会議費	26,843	196,300	-169,457
支部長会会議費	237,458	1,403,002	-1,165,544
常務理事会(運営委員会)会議費	0	34,703	-34,703
管理費	11,572,287	5,570,861	6,001,426
人件費	5,437,262	2,648,823	2,788,439
社会保険料等	368,820	127,420	241,400
備品費	0	0	0
消耗品費	306,599	22,586	284,013
複写機トータルサービス料	387,273	185,899	201,374
通信費	216,295	118,155	98,140
旅費	1,359,700	594,420	765,280
事務用品印刷費	68,850	23,544	45,306
慶弔費	42,944	21,858	21,086
光熱水費	114,509	48,895	65,614
職員厚生費	20,000	0	20,000
退職給付費用	1,250,000	0	1,250,000
租税公課	358,189	73,412	284,777
振込手数料	179,562	146,242	33,320
その他雑費	1,462,284	1,559,607	-97,323
特定目的事業支出	3,938,695	0	3,938,695
八王子分収林育成事業費	0	0	0
周年記念事業費	0	0	0
学生援助事業費	3,938,695	0	3,938,695
被災会員支援事業費	0	0	0
図書等刊行事業費	0	0	0
その他本財産に適合する事業費	0	0	0
経常費用計	37,677,154	17,970,504	19,706,650
評価損益等調整前当期経常増減額	-2,358,346	7,736,193	-10,094,539
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-2,358,346	7,736,193	-10,094,539
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-2,358,346	7,736,193	-10,094,539
一般正味財産期首残高	377,085,489	369,349,296	7,736,193
一般正味財産期末残高	374,727,143	377,085,489	-2,358,346
II 指定正味財産増減の部			
指定正味財産（八王子分収林育成林木）			
当期指定正味財産増減額	-32,877,400	0	-32,877,400
指定正味財産期首残高	32,877,400	32,877,400	0
指定正味財産期末残高	0	32,877,400	-32,877,400
III 正味財産期末残高	374,727,143	409,962,889	-35,235,746

- 8) 入会金・賛助会費等の会費の更なる納付率向上のための方策を検討し実施した。
- 9) 歳出削減に努めた。

(4) 同窓会の課題及び今後の対応

- 1) 学内外問わず、同窓会活動をご理解いただくため、同窓会紹介パンフレット（入学時及びペアレックスデーにて配布）及び同窓会WEBによるPR活動に努めた。
- 2) 旧同窓会の分収林小委員会で議論した経緯を踏まえ、令和2年3月31日をもって分収造林契約を終了させ、引き続き八王子市と分収林の利用方法について検討を継続する合意を得た。
- 3) 海外支部設置について、検討を引き続き行った。
- 4) 農工通信の未着信な会員について追跡の動静調査を行った。
- 5) 祝電・弔電により祝意・弔意を表した。

(5) 準会員に対する援助、新入一般会員歓迎事業の継続実施

大学と協議しながら就活セミナー等の開催や同窓会推薦キャリア・アドバイザー支援の援助等を行うことで、同窓生となる準会員（学生）に対して、就職支援等の充実を図った。

準会員の勉学・学生生活に関して、学会・コンテスト・コンクール等の発表・入賞祝い、学会誌・論文発表等支援、優秀卒論副賞等の援助、学園祭・課外活動の援助及び卒業・修了証書カバーの贈呈を行った。

(6) その他

- 1) 改組に伴う部会の組織編成のあり方についてさらに検討を行った。
- 2) 校歌・寮歌のCD化準備作業をさらに進めた。

【別記4】

一般社団法人 東京農工大学同窓会 代議員選出方法に関する規則 (改正案)

(職務)

第6条 選挙管理委員会は、下記の職務を行う。

- 一 代議員選挙実施の公示
- 二 代議員候補者の資格の審査
- 三 審査結果の代議員候補者への通知
- 四 正会員全員に対する投票用紙の配布
- 五 投票の集計
- 六 投票結果の公示
- 七 代議員名簿の作成

(実施の公示)

第7条 前条一の代議員選挙実施の公示は、同窓会ホームページで公表する方法によるものとする。

(投票)

第8条 第6条四に定める投票用紙は、「農工通信」送付時に投票用紙を同封する方法で配布する。さらに、同窓会ホームページで代議員候補者一覧を公表する。

2 正会員は送付された投票用紙を郵送する方法により投票する。

(当選決定)

第9条 前条五の集計にあたり、信任が正会員全体の過半数を超えた者を当選とする。

2 期日までに投票が無い者は、信任したものと見なす。

3 第6条六の投票結果の公示は、同窓会ホームページで公表する方法によるものとする。

(投票の不実施)

第10条 第8条に定める投票は、推薦及び立候補者募集の過程で、代議員候補者が別に定める代議員候補者定数未満の場合、実施しないことができる。

2 この場合、選挙管理委員会は第6条第1項第6号に定めに関わらず、投票を行わない理由と代議員候補者の名前を示し、全員が代議員となることを同窓会ホームページに公示することとする。

(書類の保管)

第1011条 選挙管理委員会は代議員選挙に関する書類を、事務局に5年間保管するよう依頼する。

2 前項の書類は以下の書類とする

- 一 代議員選挙の公示文書
- 二 代議員候補者推薦文書
- 三 立候補代議員の立候補届
- 四 代議員候補者の資格審査結果報告書
- 五 投票用紙
- 六 代議員当選公示文書
- 七 第10条第2項に関する公示文書
- 七八 代議員名簿

(事務)

第1112条 代議員選出に関する事務は、当法人事務局において処理する。

(規則の改廃)

第1213条 この規則の改廃は、総会が行うものとする。

附則

この規則は、平成元年6月22日より施行する。

(令和2年6月20日 一部改正 投票の不実施に関して規定)

(*「代議員選出方法に関する規則」より 下線箇所が変更・加筆部分)

【別記5】

一般社団法人 東京農工大学同窓会 代議員候補者の選定に関する申し合わせ (改正案)

(趣旨)

第1条 この申し合わせは、東京農工大学同窓会代議員選出方法に関する規則第2条第2項に定める代議員候補者の選定及び第10条に定める代議員候補者定数に関して必要な事項について定める。

(代議員候補者)

第2条 代議員候補者は以下の者とする。

- 一 会長候補者 1名以上
- 二 副会長候補者（部会で選出された部会長）
- 三 次の基準により所属正会員数に応じ部会から推薦された者
 - ・およそ320人に1名の割合で推薦する。
 - ・上記割合の人数が推薦できない場合、割合以下となることも可とする。
 - ・総数は最大75名とする。

- 四 支部で選出された支部長
- 五 所属正会員数に関係なく各支部から1名の割合で推薦された者

・上記の推薦ができない場合、推薦しないこともできる。

- 六 立候補した正会員50名以内

2 立候補した正会員の登録方法については別途定める。

(代議員候補者定数)

第3条 代議員候補者の定数は会長候補者を除き242名とする。

(申し合わせの改廃)

第3条4条 この申し合わせの改廃は、総会が行うものとする。

附則

この申し合わせは、令和元年6月22日より施行する。

(令和2年6月20日 一部改正 代議員候補者の定数に関して規定)

(*下線箇所が変更・加筆部分)

【別記6】

一般社団法人 東京農工大学同窓会 立候補代議員に関する申し合わせ (改正案)

(趣旨)

第1条 この申し合わせ規程は、東京農工大学同窓会代議員候補者の選定に関する申し合わせ第2条第2項に基づき立候補代議員に関して必要な事項について定める。

(公告)

第2条 選挙管理委員長は、総会開催選挙実施前年の毎年7月末日までに代議員として立候補を希望する正会員に対して、同窓会

ホームページで公募するとともに、8月発行の「農工通信」に同様の内容を広告しなければならない。

(申請)

第3条 立候補代議員として登録を希望する正会員は、総会開催選挙実施前年の9月末日までに書面又は電磁的方法により当法人事務局へ申出なくてはならない。

(登録)

第4条 前条により正会員から申出があった場合は、選挙管理委員会において審議の上、総会構成員候補者として登録するものとする。

2 50人の定員を超える申請があった場合は、抽選等適切な方法により調整するものとする。

3 登録は、申請のあった総会のみ有効とする。

(通知)

第5条 選挙管理委員長は、前条の審査結果を申請した正会員に対してその年の10月末日までに、書面又は電磁的方法により通知しなければならない。

2 一般社団法人東京農工大学同窓会 代議員選出方法に関する規則第10条に定める、投票の不実施があった場合は、その理由と代議員となることを第1項と同様に通知しなければならない。

(事務)

第6条 登録等に関する事務は、事務局において処理する。

(申し合わせの改廃)

第7条 この申し合わせの改廃は、総会が行う。

附則

この申し合わせは、令和元年6月22日より施行する。

(令和2年6月20日 一部改正 投票不実施の場合に関して規定)

(*下線箇所が変更・加筆部分)

【別記7】 選挙管理委員の選任案

委員長

峰松 敏夫 (農学S47) (留任)

委員

肥土 邦彦 (農学S48) (留任)

菅野 茂樹 (織高S49) (留任)

望月 淳夫 (機械S50) (留任)

任期：第4回総会終結の時まで



【別記8】 令和2年度 事業計画

(1) 第2回定時総会の開催

令和2年6月20日(土) 府中キャンパスにて第2回定時総会を開催する。

議事内容は、審議事項1：議事録署名人選出の件。審議事項2：2019年度 貸借対照表(案)及び損益計算書(正味財産増減計算書)(案)の件。報告事項①：2019年度 事業報告の件。報告事項②：2019年度 監査報告の件。審議事項3：規則の改正(案)の件。審議事項4：選挙管理委員選任の件。報告事項③：令和2年度 事業計画の件。報告事項④：令和2年度 収支予算の件。その他

(2) 令和2年度各種会議の開催

令和2年5月、11月及び令和3年3月に理事会、令和2年11月に臨時総会、副会長懇談会・部会長会・支部長会を開催する。

(3) 同窓会組織の強化及び活性化

- 1) 一般社団法人にふさわしい形で、安定した運営が行えるようにする。
- 2) 部会・支部・職域組織の同窓意識の向上と会員交流の促進を図る方策として「農工通信」の年2回発行を継続し、学外編集委員と共に内容の充実に努める。
- 3) 運営委員・監事・事務局長の部会・支部への派遣も引続き行い、今まで派遣していない支部

【別記9】 令和2年度 収支予算

(単位：円)

No.	区分	細分	項目	令和2年度 予算額①	2019年度 予算額②	差異 ①-②	摘要			
1	基本財産	収入	基本財産（前年度繰越金 6）	330,000,000	330,000,000	0				
2			余剰金からの繰入れ(30%を超える分)	0	0	0				
3			上記以外の余剰金からの繰入	0	0	0				
4			収入合計（1+2+3）	330,000,000	330,000,000	0				
5		支出	他の財産へ繰出し	0	0	0				
6			支出合計（5）	0	0	0				
7				基本財産残高（4-6）→次年度繰越金	330,000,000	330,000,000	0			
8	運用財産	収入	前年度繰越金	3,482,845	6,174,004	-2,691,159	前年度の剰余金			
9			入会金	3,500,000	3,500,000	0	前年度予算と同額			
10			年会費	1,000,000	1,000,000	0	前年度予算と同額			
11			終身会費	3,000,000	3,000,000	0	前年度予算と同額			
12			賛助会費	21,000,000	21,000,000	0	前年度予算と同額			
13			利息	1,000	1,000	0	前年度予算と同額			
14			寄附金	0	0	0	前年度予算と同額			
15			雑収入	0	2,100,000	-2,100,000	新型コロナウイルス対策により合同企業説明会を中止したため収入ゼロ			
16			基本財産運用益	900,000	900,000	0	前年度予算と同額			
17					収入合計（8～16の計）	32,883,845	37,675,004	-4,791,159		
18			支出	運用財産	動静調査費	600,000	600,000	0	前年度予算と同額	
19					会報発行費	0	10,000,000	-10,000,000	本年度は特定目的事業財産から支出	
20					HP管理作成費	300,000	300,000	0	前年度予算と同額	
21					部会・支部活動費	6,300,000	6,300,000	0	前年度予算と同額	
22					母校援助費	0	0	0	本年度は特定目的事業財産から支出	
23					卒業生援助費	1,780,000	1,780,000	0	前年度予算と同額	
24					同窓会の森（旧分収林）管理費	300,000	50,000	250,000	分収林後片づけ及び記念碑作成経費	
25		資料整備費			300,000	300,000	0	前年度予算と同額		
26		事業費計（18～25の計）			9,580,000	19,330,000	-9,750,000			
27		総会会議費			4,000,000	4,000,000	0	前年度予算と同額		
28		理事会会議費			600,000	600,000	0	前年度予算と同額		
29		副会長懇談会（部会長会）会議費			200,000	200,000	0	前年度予算と同額		
30		支部長会会議費			1,600,000	0	1,600,000	本年度開催		
31		運営委員会会議費			100,000	100,000	0	前年度予算と同額		
32		会議費計（27～31の計）			6,500,000	4,900,000	1,600,000			
33		人件費			5,600,000	5,600,000	0	前年度予算と同額		
34		社会保険料等			360,000	360,000	0	前年度予算と同額		
35		備品費			200,000	0	200,000	現段階で予定はないが、今年度計上する。		
36		消耗品費			500,000	500,000	0	前年度予算と同額		
37		複写機トータルサービス料			620,000	620,000	0	前年度予算と同額		
38		通信費			250,000	250,000	0	前年度予算と同額		
39		旅費			1,700,000	1,700,000	0	前年度予算と同額		
40		事務用品印刷費			50,000	50,000	0	前年度予算と同額		
41		慶弔費			50,000	50,000	0	前年度予算と同額		
42		光熱水費			120,000	120,000	0	前年度予算と同額		
43		職員厚生費			30,000	30,000	0	前年度予算と同額		
44		退職給付費用			250,000	1,250,000	-1,000,000	本年度から毎年250千円計上		
45		租税公課			150,000	150,000	0	前年度予算と同額		
46		振込手数料			300,000	300,000	0	前年度予算と同額		
47		その他雑費			6,623,845	2,465,004	4,158,841	予備費を計上しないため調整用		
48		管理費計（33～47の計）			16,803,845	13,445,004	3,358,841			
49		予備費			0	0	0			
50						支出合計（26+32+48+49）	32,883,845	37,675,004	-4,791,159	
51						運用財産残高（17-50）→次年度繰越金	0	0	0	
52		特定目的事業財産	収入	前年度繰越金	36,021,010	40,911,485	-4,890,475			
53				余剰金からの繰入(30%を超える分)	0	0	0			
54				上記以外の余剰金からの繰入	0	0	0			
55				収入合計（52+53+54）	36,021,010	40,911,485	-4,890,475			
56			支出	八王子分収林育成事業支出	0	0	0			
57				学生援助事業支出	5,500,000	5,500,000	0			
58				被災会員支援事業支出	0	0	0			
59	図書等刊行事業支出			0	0	0				
60	その他本財産に適合する事業支出			11,000,000	0	11,000,000	会報発行費（100号記念のため増額）			
61	支出合計（56～60の計）			16,500,000	5,500,000	11,000,000				
62					特定目的事業財産残高（55-61）→次年度繰越金	19,521,010	35,411,485	-15,890,475		
63	特定資産		八王子分収林育成林木	0	32,877,400	-32,877,400	令和2年3月31日分収造林契約終了			
64			総合計（7+51+62+63）	349,521,010	398,288,885	-48,767,875				

※1：予算段階では次年度繰越金はゼロ
 ※2：次年度繰越額は減少し、令和3年度までは対応できるが、それ以降は対策が必要

にも派遣できるようにする。大学役員の派遣依頼にも応えられるよう大学との連携を図る。

- 4) 部会・支部活動の活性化のための支援の方策を検討する。
- 5) 卒業生に対して、大学が発行する証明書の発行手数料を援助する。
- 6) 同好会活動の充実に努める。
- 7) 部会・支部のホームページ立ち上げに協力するとともに、同窓会WEBページにある「会員交流広場」、「ギャラリー」等の活用法及び充実について検討を重ねる。
- 8) 入会金・賛助会費等の会費の更なる納付率向上のための方策を検討し実施する。
- 9) 歳出削減に努める。

(4) 同窓会の課題及び今後の対応

- 1) 学内外問わず、同窓会活動をご理解いただくため、同窓会紹介パンフレット（入学時及びペアレングターにて配布）及び同窓会WEBによるPR活動に努める。
- 2) 分収林返還後の旧分収林の利用方法について、八王子市役所と協議する。
- 3) 海外支部設置について、検討を引き続き行う。
- 4) 農工通信の未着信な会員について追跡の動静調査を行う。
- 5) 祝電・弔電により祝意・弔意を表す。また、本会の発展に顕著な功績があった者に感謝状を贈呈する。

(5) 準会員に対する援助、新入一般会員歓迎事業の継続実施

大学と協議しながら就活セミナー等の開催や同窓会推薦キャリア・アドバイザー支援の援助等を行うことで、同窓生となる準会員（学生）に対して、就職支援等の充実に努める。

準会員の勉学・学生生活に関して、学会・コンテスト・コンクール等の発表・入賞祝い、学会誌・論文発表等支援、優秀卒論副賞等の援助、学園祭・課外活動の援助及び卒業・修了証書カバーの贈呈を行う。

(6) その他

- 1) 改組に伴う部会の組織編成のあり方についてさらに検討を行う。
- 2) 校歌・寮歌のホームページ上での紹介方法について検討を行う。



第2回代議員選挙について（選挙実施方法の変更のお知らせ）

同窓会事務局長 池谷 紀夫

現在の総会代議員の任期は、来年の定時総会終了時までです。これに伴い、第2回代議員選挙を実施いたします。

今回の代議員選挙から前回代議員選挙の状況を考慮して、代議員の候補者が代議員定数242名に達しない場合は、投票を実施することなく候補者全員を当選とすることができるように、規則の改正をいたしました。（第2回定時総会で承認）

前は、農工通信後期号配布時に選挙投票用紙を同封し、ご返信いただく形で実施いたしました。投票を実施する場合は前回と同様にいたしますが、投票を実施しない場合は、その旨と選出された代議員全員の名簿を農工通信後期号配布時にお知らせします。

選挙に関する詳しいお知らせは、41ページに掲載しております。

同窓会役員等体制と支部長 及び 連絡員表

同窓会役員等体制 (第1回定時総会終了時～第3回定時総会)

会 長

栗原 績 (農工S42)

副会長

内藤 廣信 (農学S41) 農学・生物生産学学部会
 安藤 俊幸 (蚕糸S49) 蚕糸生物学部会
 佐藤 令一 (植防S54) 植防・応用生物学部会
 柿内 久弥 (農化S54) 農芸化学・応用生命化学部会
 佐藤 敬一 (林産S56) 林産・生物資源工学部会
 伊豆田 猛 (環保S59) 環境科学部会
 本山 芳裕 (林学S48) 林学部会
 島田 清 (農工S48) 生産環境工学部会
 小池 伸介 (地生H13) 地域生態システム学部会
 田谷 一善 (獣医S46) 獣医学部会
 草間 健一 (製糸S43) 製糸・高分子・生命工学部会
 千田 武 (織工S46) 繊維・有機材料部会
 高野 文夫 (化工S51) 化学工学部会
 前川 佳博 (工化S48) 応用分子化学部会
 澤田 孚夫 (機械S40) 機械システム工学部会
 竹村 淳 (電子H3) 電気電子工学部会
 水野 隆司 (応物S46) 物理システム工学部会
 王 大慶 (情報院H24) 情報工学部会
 加藤 美治 (MOT H21) MOT部会
 二見 能資 (生シ院H14) B A S E部会
 船田 良 (連農S63) 連合農学部会

理事会

理事長 千年 篤 (農学S58)
 副理事長 桑原 利彦 (生機S57)
 副理事長 戸田 浩人 (林学S59)
 理 事 安藤 俊幸 (蚕糸S49)
 〃 柿内 久弥 (農化S54)
 〃 本山 芳裕 (林学S48)
 〃 千田 武 (織工S46)
 〃 高野 文夫 (化工S51)
 〃 加藤 美治 (MOT H21)
 〃 三宅 信行 (環保S55)
 〃 杉山 嘉英 (林学S52)
 〃 河野 誂 (獣医S45)
 〃 村松梅太郎 (獣医S39)
 〃 馬場 信行 (林学S35)
 〃 佐々木良和 (農工S39)

監 事

加藤 誠 (農工S44)
 鈴木 創三 (農学S47)
 小林龍一郎 (電気S51)

運営委員

総務部長 野村 義宏 (農化S59)
 副 部 長 齊藤美佳子 (工化H1)
 副 部 長 赤井 伸行 (環資H11)
 事業部長 滝山 博志 (化工S62)
 副 部 長 佐々木一昭 (獣医H4)
 経理部長 富永 洋一 (物生H7)
 副 部 長 野口 恵一 (材料H1)
 広報情報部長 亀山 秀雄 (化工S48)
 副 部 長 村上 尚 (応化H12)
 副 部 長 水川 薫子 (環資H18)

事務局長

池谷 紀夫 (農学S49)

同窓会支部長及び連絡員 (令和2年7月1日現在)

支部名	支部長名	連絡員名
北海道	宇野澤正美 (農工S46)	伊藤 隆之 (農工S62)
青 森	山館 昭夫 (林学S52)	白石 一志 (農学H4)
秋 田	野村 俊悦 (農学S44)	吉田 育男 (植防H4)
岩 手	深澤 光 (林学S56)	小澤 結 (環資H11)
山 形	河野 誂 (獣医S45)	川崎 聡明 (生産H9)
宮 城	鈴木 正彦 (林学S57)	大類 清和 (林学H2)
福 島	荒井 賢治 (農工S47)	松本 文章 (環保H4)
茨 城	川野 和彦 (林学S50)	磯邊 晋吾 (林学S62)
栃 木	村松梅太郎 (獣医S39)	南木 好樹 (農工S58)
群 馬	山本 明 (農工S45)	影澤 圭太 (林産H3)
埼 玉	金本 伸郎 (農学S51)	竹詰 一 (農学H2)
千 葉	前之園孝光 (獣医S44)	津金 胤昭 (応生H6)
東 京	栗原 知 (林学S47)	稲田真樹子 (地生H17)
神奈川	真子 正史 (農学S41)	黒澤 晃 (農学H2)
新 潟	和唐 博恭 (製糸S44)	村山 康則 (農学H3)
富 山	林 繁利 (工化S39)	飯野 師 (地生H18)
石 川	森倉 正信 (養蚕S48)	濱崎 貴史 (環資H15)
福 井	野坂 雄二 (農工S53)	新海 隆介 (環・資H12)
山 梨	篠原 隆美 (養蚕S44)	藤川 裕 (生産H8)
長 野	相馬 正博 (農学S53)	小坂橋晴之 (地生H19)
岐 阜	工藤 正弘 (織工S44)	雨宮 功治 (植防S60)
静 岡	杉山 嘉英 (林学S52)	土屋 雄人 (応生H20)
愛 知	瀧上 紀吉 (機械S41)	水野銈一郎 (農学S42)
三 重	古野 優 (獣医S60)	西野 実 (生産H7)

支部名	支部長名	連絡員名
大 阪	佐々木良和 (農工S39)	中野 淳 (機械S60)
京 都	西村 寿 (農工S50)	松井 崇 (農工S51)
滋 賀	川島 長治 (農学S39)	鈴木 一成 (地生H25)
奈 良	山本 治幸 (電気S54)	岩治 新 (地生H20)
和歌山	毛呂 眞 (林学S41)	中村 純子 (環・資H6)
兵 庫	上坂 修一 (林産S54)	安徳 剛志 (林学S59)
岡 山	内藤 照章 (獣医S34)	谷 智仁 (林学S61)
広 島	三宅 信行 (環保S55)	石田 一之 (機械S59)
山 口	松村 聡 (工化S46)	岡本 賢一 (植防H4)
鳥 取	江原 宏昭 (農院S48)	門脇 互 (製糸S54)
鳥 根	桑本 幸夫 (林産S56)	松浦 史瑞 (林産H1)
香 川	鳥取 康治 (織高S51)	遠藤 克彰 (機シスH24)
徳 島	長谷川 進 (工化S47)	小杉純一郎 (林学S63)
高 知	寺峰 孜 (養蚕S45)	豊田 陽一 (蚕糸S57)
愛 媛	鈴木 東義 (工化S39)	尾中 直道 (環・資H7)
福 岡	西田 晴二 (獣医S41)	平島 亮介 (生産H13)
佐 賀	御厨 秀樹 (植防S56)	御厨 秀樹 (植防S56)
長 崎	内山 満 (林学S49)	古賀 淳士 (農学S52)
熊 本	安尾 博徳 (農工S49)	永山 裕治 (環保H1)
大 分	松久 房義 (蚕糸S50)	川ノ上 実 (生産H12)
宮 崎	池田 典昭 (林学S49)	井之上英行 (農工H4)
鹿児島	上原 武志 (植防S42)	長谷川信幸 (製糸S54)
沖 縄	糸数 剛 (農工S45)	花城 薫 (林産H3)
横濱会	草野 洋一 (養蚕S47)	向 恒雄 (製糸S46)

叙勲受章にあたり

【令和元年秋の叙勲】

「瑞宝中綬章」を受章して

小畑 秀文（元学長・同窓会名誉顧問）



受章後の記念写真

令和元年秋の「瑞宝中綬章」叙勲に際して東京農工大学同窓会より丁寧なご祝辞をいただきました。心より感謝申し上げます。

勲章とは無縁、というよりも関心も興味も全く持つこと無く今日に至った、というのが偽りの無いところです。受章理由は教育・研究・管理運営への功労と思われませんが、振り返ってみれば反省点ばかりが浮かんできます。

現在、中高一貫校であるかえつ有明中・高等学校での教育に責任を負っている立場ですが、農工大学に在職中に教育に貢献できたことといえば自分の専門分野であるデジタル信号処理の分野での出版を通してのものがまず浮かびます。専門分野においてこれまで10冊ほど出版しておりますが、その中に自分で言うのもおこがましいのですが、良く書けていると今でも思っている本があります。幸いにも計測自動制御学会の学会賞（著述賞）を授与され、結構な部数がこの分野の研究者に読んでいただいております。また、モルフォロジーという集合論に基づく画像処理手法の勃興期に大学院の講義でこの新分野を紹介し、後にそれを教科書としてまとめたことも小生の記憶に強く残っております。この分野の教科書は無かったので、売れるだろうと思ったのですが、残念ながら見込み違いで

した。しかし新規投稿される画像処理関係の論文でこの本が引用されることがとても多く、結果としてうんざりするほど多くの査読依頼が舞い込んだのを鮮明に記憶しております。農工大学を去って国立高等専門学校機構に移り、全国の高専を巡っているときに、ある教員から「先生の本でデジタル信号処理を勉強しました。サインして下さい」と本を差し出されたこともあります。叙勲に際してこれらのことが評価されたとは思われませんが、自身の心の内ではこれらが教育面での主要な貢献かなと思っております。

研究面では医用画像の認識処理に基づく診断支援システム開発に関連する取り組みが一番大きなことと思います。科研費の特定領域研究（直接経費約8億円）を、それが終了した2年後に新学術領域研究（直接経費約10億円）を立ち上げ、共に領域代表者として日本のコンピュータ診断支援システム開発分野のレベルを世界のトップレベルへと押し上げたことに多少の貢献ができたことが一番の思い出です。乳がんの診断支援システムの実用化を成し遂げられたのも、清水昭伸教授を初めとした研究室の仲間の尽力のお陰でした。その後、ディープラーニングという新しい機械学習法の出現で我々が開発したシステムは性能的にも寿命を迎えましたが、思い出としては今でも心の中に生き続けております。

学長に就任したこと、その後国立高等専門学校機構理事長になったこと、そしてまさかの中高一貫校の校長として中等教育に携わることになったことは、全くの予定外、想定外のことでした。優れた管理能力を持つ理事の皆さんや事務の方々、側面からサポートして下さる教員や研究室の仲間を支えられての48年間でした。この場をお借りして改めて関係の皆さんにお礼申し上げます。ありがとうございました！

農工通信 No.99

退職にあたり

東京農工大学 前学長 大野 弘幸



昭和63年8月に工学部の助教授として着任してから、本学で自由に研究と教育をさせて頂いたことに感謝いたします。配属されてくる元気で優秀な学生諸君に研究の面白さを教え、ともに世界を相手に思いっきり研究をする環境を作ることができ、「3倍遊んで3倍学ぶ」をモットーとして研究室を運営してきました。イオン液体の研究では国内外で認知されるようになり、世界各地で招待講演をすることができました。新しいことに挑戦できる大学人として自由に働けたことに感謝します。教授になってからは学科主任、評議員、工学部長、学長として農工大に恩返しをすべくそれぞれの段階で努力してきました。今年の3月末に退職し、4月からは工学部に部屋を借りて研究を再開しております。しかし、研究のカンとセンスは戻らず、体力の低下も含め、リハビリリ状態です。コロナウイルス騒動が一段落したら皆さんと赤ワインを飲みながら歓談したいと思えます。30年にわたりお世話になった東京農工大学の益々のご発展を祈念しております。

その写真の撮影日から33年、通りの樫は20mを超え、その両側には13号館やCUBE棟が建ち洒落たキャンパスになっています。その間、学部生、大学院生延べ252名を社会に送り出し、微力ながら学生の成長を手助けできたのではと振り返っています。

学生時代は電気系エンジニアを考えていたのですが、教育と研究という想定外のチャンスをいただき大変幸せでした。大学関係者の方々、及び33年間ご支援いただいた多くの皆様方に感謝申し上げます。東京農工大学の益々の発展を祈念しています。

私が農工大に入学したのが1970年、修士課程まで進んで1976年に修了いたしました。民間企業に就職したのち、1979年11月に農学部助手に採用され、3年前に農学部教員から大学本部へと異動しました。学生時代と教員生活を合わせて、実に46年余り農工大にお世話になった計算になります。退職前の10年ほどは、農工大の運営にまで関わらせていただいたことは大変光栄に思っています。

東京農工大学 前理事 岡山 隆之



手元に1枚の写真があります。日付は1987年4月6日、場所は小金井キャンパスを東西に走る樫通り沿いの図書館前あたり。そうです。私が本

東京農工大学 前理事 梅田 倫弘



東京農工大学 前理事 岡山 隆之

農工通信 No.99

私が特に印象に残ることとして、文科省が進めた「大学の世界展開力強化事業」に農工大が応募して助成をいただいたことが挙げられます。東南アジアや中南米の大学と連携して学生の海外派遣を奨励し、これを契機として農工大のグローバル化を進めることができたのは私にとっても嬉しいことの一つでした。

大学の生き残りが叫ばれるようになり、同窓会も含めて構成員の英知を絞って、農工大の将来を創造することが、今、必要です。農工大が今後とも多くの学生に愛される大学として、ますます発展することを祈っています。

農学研究院教授 向後 雄二



本年は100年に一度と言われるパンデミックである新型コロナウイルス禍にあり、皆様大変な時をお過ごしのことと思います。くれぐれもお体大切にお過ごしください。この度3月31日付けをもちまして、東京農工大学を定年退職いたしました。1978年に東京農工大学農学部を卒業し、農林省農業土木試験場に勤務いたしましてから、42年の月日が経ちました。その間多くの方々と交流し、支えていただきましたこと感謝の念に堪えません。心より厚くお礼申し上げます。本学へは2007年4月に参りましてから13年間、地盤工学をベースにした農業工学分野で、研究・教育に従事してまいりました。特に、近年多発する豪雨や地震による自然災害の防止に注力してまいりました。国内外の多くの優秀な学生や同僚に恵まれ、ある程度は初期の目的を全うできたと思っています。しかし、研究には終わりがありません。気力・体力が続く間はもう少し研究を続けたいと思っています。最後に、本学の益々の発展を祈願致します。



平成19年4月に農業研究機構動物衛生研究所から東京農工大学農学部獣医学科獣医伝染病学研究室教授として、13年間勤め令和2年3月に東京農工大学を無事退職することが出来ました。これもひとえに、私と温かく接して頂いた大学職員、教員の方々のお陰とっております。8年ほど前に当時図書館事務長の青木事務長から、運動することを勧められ、元農学部事務長の一杉さんに誘われて、ほとんど毎日昼休みにテニスを楽しむことで、健康を維持出来たお陰とっております。下手な私のテニスに付き合ってくれた竹下さん、中島さん、井出さん、池谷さんをはじめ職員の方々本当に有難う御座いました。私は平成9年から、本学に勤務するまで、非常勤講師として本学の学生に接して参りました。本学の教員公募に応募した一番の理由は、本学の優秀で素直な学生諸君ともっともっと付き合いたいと思ったことです。本学の教授に就任してから直ぐに、大学祭で焼酎を販売する模擬店を8年ほど開店し、研究室の学生さんだけでなく、本学の多くの学生諸君ともお付き合いすることが出来たことは大変な喜びでありました。仕事の方では、2010年に発生した「口蹄疫」により、メディアへの出演が多くなり、そのお陰で、東京農工大学農学部附属国際家畜感染症研究教育センターの設立に寄与することが出来、初代センター長も務めました。本年のようにCOVID-19の感染が世間を騒がせている状況は、当時を思い出させてくれます。最後に本学の関係者に感染して死亡するような人が一人も出ないことを願って文を閉じます。

農学研究院教授 土屋 俊幸



私が農工大に赴任したのは2002年4月でした。合計17年間の北日本暮らしから、生まれ育った東京に戻って来たのですが、当時はそれから18年間、つまり私の給料取りとしての暮らしのちょうど半分を、この緑に溢れた府中キャンパスで送ることができるとは思っていませんでした。

それはともかくとして、赴任から1、2年の間に、これからの自分の活動の方針として3つのことを決めました（これらの前提の研究は当然なので省きます）。1）地域と深く関わること、2）学生としっかり付き合うこと、3）学科運営に積極的に関わること。いずれも、前任の大学では、様々な要因から必ずしもうまく行かず、悔いが残ったことでした。これらが実際にどの程度できたかはわかりませんが、頑張ったことだけは言えると思います。そして私が頑張ることができたのは、学生たち、研究室・学科・学部の同僚のみなさん、事務の方々、そして地域のみなさんの支えがあったからこそでした。

改めて、深く感謝いたします。本当にありがとうございました。

農学研究院教授 藤井 義晴



平成23年（2011年）に、農業環境技術研究所から農学研究院国際環境農学部門に教授として赴任し、8年半の短期間でしたが、年2回入学と卒業のある部門で、アジア・アフリカ・中東・南米の留学生と多くの優秀な日本人学生に恵まれ、楽しく教育と研究に従事させていただ

き、ありがとうございました。農水省の研究所で30年過ごしての異動でしたが、国際生物資源学研究室を新設していただき、専門のアレロパシーと植物化学生態学の研究を継続することができ、世界26ヵ国で新たな調査ができたのは農工大のお陰と感謝しております。幸い研究プロジェクトがしばらく継続になり、特任教員として研究を継続させていただけることになりましたので、研究の総仕上げをしたいと考えています。社会が変動する時代を迎えますが、人と環境の共存の上に成り立つ農学は、今後ますます重要になると思います。本学の今後の発展を確信しております。

農学研究院教授 藤川 浩



2007年4月に農学部獣医学科に教授として赴任し、13年に渡り、特に食品衛生学の分野で教育、研究に携わってきました。大学卒業後は現在の東京都健康安全研究センター微生物部で主に食品微生物分野を担当してきました。東京都立大学で微生物毒素に関する研究で学位を取得しましたが、農学部高橋信弘先生の卒業された研究室であったので、世界の小ささを実感しました。本学には縁があって教員となることができ、それまでの公務員とは違った経験、仕事をすることができました。学生に恵まれ、彼らと共に国際学術誌にも論文をいくつか掲載できました。研究を進めるには気力、アイデアと共に基礎力が必要です。社会で評価の高い大学は学生に十分な基礎力を習得させた大学であるようです。その点を教員は再認識する必要がありますかと思えます。現在、コロナウイルス蔓延で世界中が混乱していますが、このような状況でも皆様には着実な仕事の前進を期待しています。

農学研究院助教 大里 耕司



昭和56年9月に農学部助手として着任以来、38年あまりを学生時代6年間慣れ親しんだキャンパスで勤めさせて戴きました。大学3年の時に夏期実習先

で目にした農業用パイプラインの壮さに感嘆して以来携わることになりました「農業水利学」が専門です。自身で研究室を持ってからちょうど20名の卒業・修了生を送り出しました。そのひとりひとりが素晴らしい才能の持ち主で、あらためて教育研究の醍醐味を実感し、教員冥利に尽き感謝する次第です。

また、平成22年から8年間同窓会常務理事として隔月の理事会で政務に携わるほか、派遣依頼のありました埼玉、静岡、秋田、栃木、三重、鹿児島、京都、香川、岡山、広島の1府9県の支部総会・懇談会へ出席させて戴きました。中でもOBでもある秋田には2度伺わせて戴きました。いずれにおきましてもほとんどの方が初めてお目にかかったにもかかわらずすんなりと打ち解けることができ、これが「校風」なのかと感じ入った次第です。在職中は本当にあらゆる面で人に恵まれたというのが率直な感想です。皆々様に感謝申しあげるとともに本学らしさを発揮した飛躍を祈念いたします。

工学研究院教授 中川 正樹



1979年、修士を出る頃に実家の経済状態が急に悪くなり、本学で助手に採用して頂いて41年が経ちました。10年かかって論文博士を取り、1989年2月に助教授、1997年9月には教授に昇格させて

頂きました。この間、33名の博士論文、127名の修士論文、そして、148名の学士論文を指導することができ、彼らのおかげで、手書き文章や数式の機械認識と直接指示・直接操作の研究および実用化に幾ばくかの貢献ができました。60歳の頃、退職を意識して研究室を徐々に縮小することも考えましたが、引き継いでくれる先生がいましたので、大学院生数は縮小せず、卒業研究の学生数だけ縮小気味で来ました。それで、博士課程と進学希望の学生がまだ7名いますので、しばらくは特任教授として残り、彼らの指導補助をするつもりです。また、4月からは先端産学連携研究推進センター（URAC）のセンター長も仰せつかりましたので、まだしばらく、本学の更なる発展のために微力ではありますが尽力したいと思います。

定年退職者のお知らせ

本学在職中に同窓会活動に多大なご協力を頂いた下記の先生方が、令和3年3月で定年を迎えられます。このことに伴い、それぞれの先生方の「定年退職祝賀会」が催されることと思えます。祝賀会に参加希望される場合は、各先生方の研究室にお問い合わせください。

農学研究院 星野 義延 教授
工学研究院 鮫島 俊之 教授
工学研究院 宮浦 千里 教授
工学研究院 米澤 宣行 教授

工学府 北原 義典 教授
総合情報メディアセンター 辻澤 隆彦 教授
総合情報メディアセンター 萩原 洋一 教授

(五十音順：氏名掲載はご本人の了解を得ている方のみです)

2019年度 同窓会学生援助事業報告

同窓会学生援助事業では、在学生（準会員）の学会発表、コンテスト・コンクールへの出場、優秀卒業論文、種々の課外活動、学園祭に対して「同窓会研究課外活動奨励賞」および副賞を授与しています。

この事業は、会員の皆様から納入いただいた同窓会費（終年会費・年会費）や入学時に納入いただいた入会金・賛助会費を元に支出しております。2019年度の援助金総額は4,598,200円でした。ここにご報告させていただきますとともに、厚くお礼申し上げます。

今後とも母校援助にご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

事 項	件 数	金 額
学会発表 <参加・出場>	359名	1,795,000円
学会発表 <入賞>	49名	245,000円
コンテスト・コンクール <出場>	3名・20団体	215,000円
コンテスト・コンクール <入賞>	3名・13団体	80,000円
学会誌・論文誌発表	0件	0円
優秀卒業論文	10学科	100,000円
課外活動 <学園祭>	2件	200,000円
課外活動 <サークル活動>	20件	1,000,000円
課外活動 <リーダーストレーニング>	1件	50,000円
キャリアアドバイザー支援	2名	120,000円
卒業・修了証書カバー支給	1,700名	793,200円
合 計		4,598,200円

※詳細については、同窓会ホームページ (<https://tuat-dousoukai.org/student/>) をご覧ください

=2019年度「同窓会研究課外活動奨励賞」受賞者のコメント=

農学府農学専攻2年 野原 裕生さん

この度は、学生援助事業の奨励賞をいただき、誠にありがとうございます。私は「第57回水と高分子に関する討論会」において、合成高分子であるポリフッ化ビニリデンが溶液中で棒状構造であることを粘弾性測定の結果発見したことをポスターにて発表し、学生奨励発表優秀賞を受賞しました。受賞ならびに研究活動に対して同窓会より評価をいただき、大変光栄に思います。この成果は、周囲の支えや同窓会の皆様のご支援のおかげだと強く感じております。これまでのご支援と、このような形で感謝の意を述べる機会をいただいたことに、心より感謝申し上げます。これからもご支援に恥じぬよう、より一層研究活動に邁進してまいります。

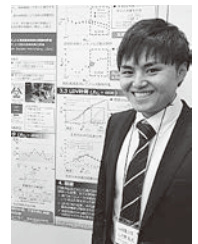


工学府機械システム工学専攻2年 中澤 誠也さん

この度、同窓会より学生援助事業の奨励賞をいただき、また、農工通信の場をお借りしてコメントをする機会をいただき、深く感謝申し上げます。

私は「日本機械学会第97期流体工学部門講演会」にてポスター発表を行い、光栄にも日本機械学会若手優秀講演フェロー賞を受賞しました。本講演では、流体輸送における省エネルギー化を実現するため、物体壁面を微小振動させる進行波制御により円管内乱流の摩擦抵抗低減効果を実験的に明らかにするといった内容で発表を行いました。本賞は、研究室の皆様ならびに同窓会の皆様の厚いご支援により、受賞することができました。改めて、感謝申し上げます。

同窓会の援助事業は、研究活動を進める上で大きな励みとなりました。今後も、より一層研究活動に打ち込み、工学分野の発展に貢献できるよう精進して参ります。



お知らせ

後期募集は2020年12月15日～2021年1月15日です（詳細はHPにて）。

援助対象者 本学に在籍中の学部学生または大学院学生で下記の1または2に該当する者

1. 入学時に保護者が賛助会費を納入した者（保護者が賛助会員）
2. 終年会費または年会費を納入した者（本人が正会員）

※会費未納の方は申請前に納入してください

会員種別については、住所ラベルに「賛助会員」「正会員」等、記載されております。申請時にはご確認ください。

第62回 農工祭

府中キャンパス
にて

11月13日金～15日回開催予定!

詳しくは

※中止になる可能性もありますので詳細はHPをご確認下さい。

部会・支部・クラス会だより

部会・支部・同好会・クラス会だよりの最新情報は、同窓会ホームページに随時掲載していますので、ぜひご覧下さい。

部会だより

MOT部会



日 時 平成31年4月20日(土)
 開催場所 田町キャンパスイノベーションセンター
 本部派遣 亀山 秀雄 先生
 参加人数 34名
 実施事項 1. 基調講演「グリーンインフラにはどんな魅力と意義があるのかー経済学の観点から」
 慶應義塾大学経済学部 教授 大沼 あゆみ 氏
 2. MOTサロン10年振り返りと同窓会総会
 東京農工大学MOT 修了生(3期) 加藤 美治 氏
 3. 開会の挨拶
 東京農工大学MOT 初代研究科長 古川 勇二 氏
 幹事・報告者 加藤 美治 (MOT H21)

<幹事のコメント>

今回は古川先生を発起人とし、MOTサロンの100回記念イベントとして開催いたしました。多くの皆さまの参加を頂き感謝いたします。1期生修了後に継続した勉強の場として始まったMOTサロンですが、これまで継続できたのは、講師となって頂いた先生方、会に参加して頂いた皆さまのお陰です。改めてお礼を申し上げます。今後とも、新たな気づき、出会い、活力を得る場として継続していきたいと考えております。皆さまのご参加をお待ちしております。

獣医学部会



日 時 令和元年7月13日(土)
 開催場所 農学部2号館2階21番教室
 本部派遣 佐々木 一昭 先生
 参加人数 50名
 実施事項 1. 幹事会実施：総会報告内容審議 (H30事業報告 R01事業計画報告 会則改定 HP開設 役員改選)
 2. 総会実施：H30事業報告 R01事業計画報告 会則改定 HP開設 役員改選
 3. 大石 勇名菅教授追悼記録映画上映実施：「犬糸状虫症Canine Filariasis 予防編」の上映
 4. 研究講演会実施
 1) 皆上大吾先生 共同獣医学科獣医臨床腫瘍学研究室 准教授「犬組織球性肉腫の細胞由来解析」
 2) 東樹理先生 平成10年卒 動物検疫所羽田空港支所検疫課「動物検疫の概要 ～アフリカ豚コレラの水際対策等～」
 3) 清水実嗣先生 昭和43年卒 元(独)動物衛生研究所所長「豚コレラの問題と防除」
 幹事・報告者 佐々木 一昭 (獣医H4)

<幹事のコメント>

研究講演会では、第一部として、平成30年に着任された皆上大吾准教授に講演して頂いた。第二部としては、我国で26年ぶりに発生し、養豚業に大きな打撃を与えている豚コレラについて、同窓生の東樹理氏と清水実嗣氏に講演して頂いた。両氏には、農林水産省の動物検疫官と研究者の立場から専門的な講演をして頂いた。近年本学で国家公務員を希望する学生が減少傾向にあるが、講演を通して学生に卒業後の進路に関する情報を提供して頂いた。研究講演会は、現役学生にも将来の就職を考える良い機会となることから、今後も継続する予定である。

生産環境工学部会

日 時 令和元年11月17日(日)
 開催場所 農学部第1講義棟16号教室他
 参加人数 29名
 実施事項 総会・講演会・懇親会
 幹事・報告者 帖佐 直 (農工H4)

<幹事のコメント>

総会后、農林水産省農村振興局の山田美紀氏、(株)丸山製作所の尾頭正伸氏を講師として迎え、講演会を開催しました。現役の学生の聴講もあり卒業生の活躍の様子を知るいい機会となりました。最後に、会場を東京農工大学50周年記念ホールに移し、懇親会を通じて幅広い年代の交流が持たれました。

農芸化学・応用生命化学部会



日 時 令和元年11月23日(土)
 開催場所 KKRホテル東京
 本部派遣 野村 義宏 先生
 参加人数 40名
 実施事項 審議事項：役員の承認および紹介、会計・監査報告
 報告事項：学内の動きの報告(次期学長候補者、大学院修士課程の改組、教員の着任・昇任、教員の受賞、卒業生・修了生の進路、他)
 その後、親睦会
 幹事・報告者 殿塚 隆史(農化H2)

<幹事のコメント>

部会の役員会・親睦会は、役員のみならず部会卒業生であればどなたでも参加し親睦を深めることができる会として開催しています。今回は、昭和33年の卒業生6名をはじめ、現役の修士学生まで幅広い年齢層の方にお集まりいただき、盛況でした。会の開催日は次期学長候補者が公表された直後であり、現部会長の伊藤氏は千葉先生と同期とのことで、本部会として大学の一層の発展を応援できればという話などで盛り上がりしました。

支部だより

北海道 支部



日 時 令和元年11月16日(土)
 開催場所 ネストホテル札幌駅前
 本部派遣 水川 薫子 先生
 参加人数 14名
 実施事項 総会、母校の現状、ミニ講演会、懇親会
 幹事・報告者 伊藤 隆之(農工S62)

<幹事のコメント>

総会では、事業報告や次年度の計画案等が了承された後、来賓の水川助教(同窓会広報・情報副部長)から、学部の変遷も含めた母校の現状や「身の回りの化学物質とマイクロプラスチック問題」をテーマに、生成の過程や生態系への影響など、ユーモアたっぷりにご講演いただきました。

懇親会では、自己紹介・近況報告で大いに盛り上がり、時間が足りないほどでしたが、最後は学歌を熱唱し、終始賑やかな会となりました。

青森県 支部



日 時 令和元年11月2日(土)
 開催場所 つかさ
 参加人数 12名
 実施事項 ①同窓会の一般社団法人化について
 ②その他
 その他 会員の近況報告等
 幹事・報告者 白石 一志(農学H4)

<幹事のコメント>

北国青森の晩秋、めっきり寒くなりました。参加者は昭和52年卒業から平成29年卒業までと幅広く、総会において、同窓会の一般社団法人への移行の報告、次期支部役員の出選方針について承認されました。

続いて記念写真、参加者の近況報告、懇親の場となり会話がはずみ、あっという間に時が過ぎ、次回の再会を期して散会となりました。

秋田県 支部



日 時 令和元年8月3日(土)
 開催場所 協働大町ビル
 本部派遣 鈴木 創三 先生
 参加人数 15名
 実施事項 鈴木創三同窓会監事によるミニ講演会と農工大の近況について、会計報告、会員の近況報告
 幹事・報告者 吉田 育男(植防H4)

<幹事のコメント>

鈴木先生に秋田にお出でいただくのは平成24年度に続き2回目です。お変わりない軽妙な語り口と農工大愛に溢れる近況報告に、会場は笑いに包まれることしばしばで、参加者一同、和やかなうちに懐かしい母校に思いを馳せることができました。

懇親会がたけなわになった頃、例年、学歌の合唱となるのですが、今回は鈴木先生の美声も聞かせていただく事ができ、大いに盛り上がったひとときとなりました。

岩手県 支部



日 時 令和元年7月21日(日)
 開催場所 エスポワールいわて
 本部派遣 亀山 秀雄 先生
 参加人数 12名
 実施事項 総会(1)平成30年度実績及び決算について(2)令和元年度計画及び予算について(3)支部活動体制について(4)その他、研修会、懇親会
 幹事・報告者 館向 博基(応化H11)

<幹事のコメント>

事務局新体制での初めての支部総会でした。来賓の亀山先生からは、岩手県支部は将来的には企画力・集客力が期待できるとのお言葉をいただきました。参加人数は12名でしたが、欠席者から近況コメントをたくさんいただき、小規模ながら盛り上がった会であったと思います。

山形県 支部



日 時 令和元年11月9日(土)
 開催場所 ホテルメトロポリタン山形
 本部派遣 淵野 雄二郎 先生
 参加人数 22名
 実施事項 ・同窓会本部総会報告
 ・支部規約の改正について
 ・支部役員等の改選について
 ・東京農工大学及び同窓会の近況等について
 ・同窓会支部会員の活動報告
 ・参加者自己紹介
 ・懇親会
 幹事・報告者 川崎 聡明(生産H9)

<幹事のコメント>

議事終了後は、淵野雄二郎名誉教授から大学及び同窓会の近況や樺寮の今昔についてお話いただき、寮生OBの参加者からは、懐かしいとの声が連呼しました。

また、河北町の和田酒造の和田茂樹氏(連農H14)からは、「山形酒を世界へ!~山形県の取り組みと弊社の取り組み~」と題して、「清酒」山形が県単位で初めて地理的表示保護制度(GI)に認定されたことや、2018年に山形県で開催されたインターナショナル・ワイン・チャレンジ(IWC)で多くの賞を受賞したこと、和田酒造の酒造りや新たな取り組み等の紹介がありました。

宮城県支部



日 時 令和元年7月6日(土)
 開催場所 ホテル白萩
 本部派遣 野村 義宏 先生
 参加人数 16名
 実施事項 支部総会、派遣理事による講演会、懇親会
 幹事・報告者 大類 清和(林学H2)

<幹事のコメント>

常連を中心に例年より少ない人数での開催となりましたが、今回は、東日本大震災からの復興に向けて富山県から宮城県に職員派遣され、最大の被災都市である石巻地域の復旧・復興に携わっている富山県支部会員の方にもゲストとして参加いただきました。また、本部からは、その石巻出身で本県の震災復興にもご協力いただいている野村義宏教授にお越しいただき、大学の近況等お話を聞かせていただきました。ほとんどの方が懇親会では物足りず、2次会まで参加し、最後まで話が尽きない会となりました。

福島県支部



日 時 令和元年7月27日(土)
 開催場所 ザ・ホテル大亀
 本部派遣 千年 篤 先生
 参加人数 34名
 実施事項 平成30年度支部活動及び収支決算
 令和元年度支部活動計画及び予算案
 令和元年度支部役員改選
 懇親会
 幹事・報告者 松本 文章(環保H4)

<幹事のコメント>

総会では、小島重紀氏(農工S55)の議長により、平成30年度事業報告並びに令和元年度事業計画が満場一致で了承されました。

総会終了後は、恒例の懇親会を開催しました。今泉正規氏(機械S39)による乾杯後、千年教授から母校の近況について、写真や様々なエピソードとともに詳しくご紹介いただきました。

また、横山正氏(農学院S55)が二本松市東和で取り組まれている、水稲新品種「[NOKO1号](仮称)」の開発と、そのお米を使って醸造した日本酒「桜福姫」についてご紹介いただきました。

茨城県支部



日 時 令和元年10月27日(日)
 開催場所 水戸三の丸ホテル
 本部派遣 戸田 浩人 先生
 参加人数 33名
 実施事項 1. 事業経過報告、収支決算について
 2. 支部規約の改正について
 3. 支部役員の改正について
 4. 同窓会本部からの大学の近況について
 幹事・報告者 磯邊 晋吾(林学S62)

<幹事のコメント>

総会では、前回総会以降の事業経過報告・収支決算のほか、同窓会の一般社団法人化に伴う茨城県支部規約の改正について承認をいただきました。

また、総会後の講演では、お忙しい中御出席いただきました戸田浩人教授から、母校の近況や先生の研究内容について丁寧なご説明があり、出席者は昨今の母校の活躍に感心しきりでした。

次回は、令和3年秋期に開催予定です。農工両学部から多数の同窓生の御参加をお待ちしております。

栃木県支部



日 時 令和2年1月26日(日)
 開催場所 ホテルマイステイズ宇都宮
 本部派遣 鈴木 創三 先生
 参加人数 24名
 実施事項 総会、懇親会、支部会報誌発行
 幹事・報告者 南木 好樹(農工S58)

<幹事のコメント>

御来賓として本部から鈴木創三・本部同窓会監事に御出席頂き、ご挨拶とともに、農工大の活躍や同窓会の近況等について御講演頂きました。

また、御多忙のなか、支部顧問であります西川公也内閣官房参与(第56・57代農林水産大臣)にも御臨席を賜り、ご挨拶とともに国政の状況等についてお話を頂きました。今回は、橋田典子さん(農学S57)、香川新さん(電情院H11)、横山実咲さん(地生H31)に初参加頂きました。平成の幕開けと母校の発展に話が弾み、楽しい一時となりました。また、来年、お会いしましょう。

群馬県支部



日 時 令和元年10月27日(日)
 開催場所 大黒寿司
 本部派遣 赤井 伸行 先生
 参加人数 29名
 実施事項 事業報告及び事業計画。赤井准教授より本学の近況紹介
 幹事・報告者 影澤 圭太(林産H3)

<幹事のコメント>

総会並びに懇親会で構成し、本学同窓会から赤井准教授を招き、本学の現状等を紹介して頂きました。昭和18年農学卒の登坂秀先輩を筆頭に、多くの同窓生に参加いただき盛会に開催することが出来ました。また、少しずつではありますが、若手の参加も増えていますので、来年度は更に参加者が増えるよう、新しく就任した山本支部長を中心に同窓会を盛り上げて参りたいと思います。

埼玉県支部



日 時 令和元年7月27日(土)
 開催場所 パイオランドホテル
 本部派遣 渡辺 元 先生
 参加人数 31名
 実施事項 令和元年度総会及び懇親会
 幹事・報告者 竹詰 一 (農学H2)

<幹事のコメント>

総会では、平成30年度事業報告並びに決算報告、令和元年度事業計画並びに予算案について審議され承認されました。

総会終了後の懇親会では、渡辺先生から大学の近況を詳しく御説明いただきました。参加者からは、今の農工大はとてもきれいになった。当時は、あまりきれいでなかったが、そこが農工大の良さでもあった。あの学食はどうなったのかと、懐かしい学生生活の話に盛り上がり楽しい時間を過ごしました。

また、支部長から、農工大同窓会は一般社団法人になり支部の重要性も増したことから、総会だけでなく、他の活動についても検討していこうと提案がありました。

東京都支部



日 時 令和元年6月29日(土)
 開催場所 工学部 グリーンホール
 本部派遣 亀山 秀雄 先生
 参加人数 6名
 実施事項 事業報告 会計報告 事業計画
 新役員承認：馬場信行支部長(林学S35)より下記の様な役員変更予定の提案があり承認された。
 支部長：馬場信行、副支部長：栗原 知、
 会計：蓮尾純子 連絡員：稲田真樹子
 幹事・報告者 栗原 知(林学S47)

<幹事のコメント>

- ・東京都支部の活性化のために下記を検討する。
 - ①ホームページの立ち上げ：2020年1月のオープンを目指し準備段階に入る。
 - ②都内に拠点を置く同好会との連絡を密にする。
- ・東京農工大同窓会東京都支部では、毎月第3火曜日18時から定例会合として「けやきクラブ」を開催している。開催場所：新宿駅東中央口ライオン会館ビヤホールライオン(地下1階)

神奈川県支部



日 時 令和元年11月16日(土)
 開催場所 横浜中華街 景珍楼新館
 本部派遣 伊豆田 猛 先生
 参加人数 22名
 実施事項 令和元年度総会、講演会及び懇親会
 幹事・報告者 黒澤 晃 (農学H2)

<幹事のコメント>

今年は横浜中華街で開催しました。本県出身である伊豆田先生をお招きし、総会の御来賓として御挨拶をいただきました。総会に続いて、伊豆田先生から本県に関連する研究について「神奈川県内の森林と光化学オキシダント」と題して御講演をいただきました。

懇親会では出席者から近況報告をいただき、出席者の活躍が披露されました。

最高齢92歳の参加者のお元気な姿に皆感心しました。最後に校歌を斉唱し、盛況な懇親会となりました。

新潟県支部



日 時 令和元年6月29日(土)
 開催場所 鳥忠本店(新潟市中央区)
 本部派遣 戸田 浩人 先生
 参加人数 17名
 実施事項 支部総会
 幹事・報告者 村山 康則(農学H3)

<幹事のコメント>

議事は原案どおり承認、参加者の掘り起こしについて話し合い、総会は無事終えました。

来賓として迎えた本部の戸田副理事長から、大学の近況を紹介いただきました。

その後行われた懇親会では、世代を越え母校での思い出などに花を咲かせ、時間を忘れて大いに盛り上がりました。

石川県支部



日 時 令和元年10月26日(土)
 開催場所 ANAクラウンプラザホテル金沢
 本部派遣 桑原 俊彦 先生
 参加人数 19名
 実施事項 ①総会
 ②講演「同窓会の一般社団法人化と大学の近況について」
 ③懇親会
 幹事・報告者 濱崎 貴史(環資H15)

<幹事のコメント>

例年の総会・懇親会に加えて、今年度は同窓会副理事長の桑原先生に講師としてお越し頂き、大学の近況についてご講演を頂きました。

例年と比べて非常に多くの会員の参加があり、大いに親睦を深めることができたほか、桑原先生の講演では様々な場面における母校の活躍ぶりについて、臨場感溢れるご紹介を頂きました。会員一同、母校への想いを新たにする機会となったほか、今後とも、より多くの会員の参加を得られるよう、引き続き会の広報に力を入れていくこととしました。

長野県支部



日 時 令和元年11月23日(土)
 開催場所 ホテル信濃路(長野県長野市)
 本部派遣 野口 恵一 先生
 参加人数 36名
 実施事項 ・平成29・30年度収支決算報告及び監査報告
 ・令和元年度予算案
 ・役員改選
 ・話題提供
 ・支部会員による講演会
 ・懇親会
 幹事・報告者 小松 栄介(環・資H8)

<幹事のコメント>

総会では、役員の変更が行われ、飯島章彦会長（植防S50）が退任され、相馬正博副会長（農学S53）が新会長に選出されました。

議事終了後は、野口恵一先生から大学の近況についてのお話を、また、出席者の中で最年長の土屋正久氏（農甲S23、92歳）から「遍歴の人生いろいろ」と題して、お仕事から地域における緑化活動等まで充実して歩まれてきたこれまでにしてお話を頂戴しました。

講演会では、玉井浩氏（農学S57）から「長野県のりんご栽培」と題して、氏の携わったシナノスイートなど長野県オリジナル品種をはじめ、りんごについてのお話を頂きました。

その後の懇親会は、大いに盛り上がり、全員で学歌を熱唱し締めくくりました。

なお、参加者の高齢化が問題となる中、平成31年度卒業生を含め20代の参加者が3名いたことは朗報でした。

三重県支部



日 時 令和元年9月8日（日）

開催場所 新玉亭（三重県津市）

本部派遣 千年 篤 先生

参加人数 15名

実施事項 支部役員改選、会計報告、農工通信執筆者選定
同窓会本部の法人化についての説明と大学の近況報告

幹事・報告者 西野 実（生産H7）

<幹事のコメント>

台風の影響が予報されており心配していましたが、台風の進路も逸れて、かわりに残暑の厳しい日の開催となりました。同窓会本部からは千年篤先生を迎え、大学の近況を報告いただき、先生の研究内容についても紹介いただきました。参加人数は15名とほぼ例年並みで、あまり多くはありませんが、近況報告などしながら楽しいひと時を過ごせました。

大阪府支部



日 時 令和2年3月1日（日）

開催場所 ガーデンシティクラブ大阪

本部派遣 池谷 紀夫 事務局長

参加人数 21名

実施事項 ・支部長挨拶
・ご来賓のご講演
・議事（会計報告、大阪支部理事会での承認結果報告、大阪支部会則の制定）
・懇親会（参加者による近況報告も含む）

幹事・報告者 中野 淳（機械S60）

<幹事のコメント>

今回の総会は、コロナウイルスで会合等を自粛するムードの中、支部長の一声で開催となりました。池谷事務局長の大学近況報告では、前回総会にお見えになられた大野学長の退任と言うセンセーショナルな話題から始まり、我々の学んだ当時からの進歩と女子学生の多さに笑いと驚きが起きました。また、我々の経験出来ない南極地域観測隊では、自分に自信を持つ事、決して逃げない事、回りへの感謝を学んだとの事ですが、この3つは我々にも通じる事で、非常に勉強になりました。その後の懇親会では、出席された方に近況と自己紹介をして頂きましたが、皆さん大いに語り、大いに笑いコロナウイルスもどこかに飛んでいく勢いであつという間に閉会となりました。

京都府支部



日 時 令和元年9月7日（土）

開催場所 京都・祇園 西坂

本部派遣 岡山 隆之 副学長

大野 智子 企画課長

亀山 秀雄 先生

参加人数 16名

実施事項 1 総会

2 講演（岡山副学長）

3 交流会

幹事・報告者 西村 寿（農工S50） 松井 崇（農工S51）

<幹事のコメント>

今年は京都支部の活動を再開してから10回目の節目の年でもあることから特別講演として岡山副学長からご講演いただき、府中・小金井両キャンパスの変貌と大学、卒業生のグローバルでの活躍などの紹介をしていただきました。とくに農学部本館をはじめ構内が映画やTVドラマに多く登場していること、女子学生の割合が高くなり農学部48%、工学部25%（国立大学工学系では最高比率とのこと）の女子学生が学んでいることなどの紹介がありました。

また、大野企画課長からは10回目を記念して大学から参加者へプレゼントをいただきました。この場をお借りして改めてお礼申し上げます。

交流会では、亀山先生に乾杯の発声をいただき、華やかな雰囲気の中で京都の伝統文化に触れながら大学の話題を肴に楽しく歓談されました。

奈良県支部



日 時 令和元年8月25日（日）

開催場所 梁山泊・本館

本部派遣 滝山 博志 先生

参加人数 8名

実施事項 ・会計報告及び支部幹事新体制における今後の活動方針
・最近の本学や同窓会活動の近況報告
・懇親会

幹事・報告者 岩治 新（地生H20）

<幹事のコメント>

支部総会はこれまで2年に1回の開催でしたが、昨年10月の支部幹事新体制発足もあり、昨年に引き続き2年連続での開催となりました。

冒頭、山本新支部長（電気S54）より、前年度の会計報告及び、新支部役員体制における今後の活動方針について、ご説明いただきました。

また、来賓の滝山博志教授（同窓会前理事長）からも、最近の本学や同窓会活動の近況についてご講話いただきました。

懇親会では情報交換で大いに盛り上がりとともに、次回の再会と総会参加者倍増を誓い合い、散会しました。

兵庫県支部



日 時 令和元年7月6日(土)
 開催場所 東天紅
 本部派遣 野口 恵一 先生
 参加人数 22名
 実施事項 支部長挨拶・派遣運営委員による農工大近況説明・
 会計報告・懇親会
 幹事・報告者 安徳 剛志(林学S59)

<幹事のコメント>

神戸の夜景を眺めながら和気あいあいと楽しいひと時を過ごしました。

出席者は、最年長者が昭和23年御卒業、最年少は平成23年御卒業の方でした。

岡山県支部



日 時 令和元年8月24日(土)
 開催場所 ビュアリティまぎび
 本部派遣 野村 義宏 先生
 参加人数 17名
 実施事項 総会議事、講演会等
 幹事・報告者 谷 智仁(林学S61)

<幹事のコメント>

令和元年度岡山県支部総会は、総勢17名(うち会員15名)の参加のもと開催しました。

まず、講演会では、岡山県農林水産総合センター水産研究所古村専門研究員をお迎えし「瀬戸内海の漁業」と題して、ノリ養殖、カキ養殖、漁船漁業等についてお話いただきました。ノリやカキ等の海の生物の生態が理解でき、食文化への興味が一層湧いたところです。

次に、野村義宏先生から母校の近況等のご説明を受けました。その後、総会議事を経て、懇親会では参加者相互の近況交換等行い、楽しい一時を過ごすことができました。

岡山県支部の皆様、令和2年度総会は8月29日(土)で計画を進めており、決まり次第ご案内させていただきますので、皆様方のご参加を心からお待ちしております。

広島県支部



日 時 令和2年2月14日(金)
 開催場所 アークホテル広島駅前
 本部派遣 千年 篤 先生
 参加人数 25名
 実施事項 支部総会(活動報告・会計報告)
 懇親会(自己紹介・理事講演・歓談)
 幹事・報告者 石田 一之(機械S59)

<幹事のコメント>

本年度は参加者40名を目指して、平日の週末金曜夜開催に挑戦しました。

結果、バレンタインデー優先で若手・ファミリー層の予想外の欠席が多く、昨年比8名減の25名参加となりました。今年は懇親会と総会を一体とし、開会宣言後、即乾杯を行い、お酒を飲みながらの挨拶・報告を行いました。

ウイルス感染症のリスク対応策で、恒例の全員握手は実施せずとしました。会場の雰囲気良く、参加者全員の近況報告が予想外に盛り上がりました。来賓先生のミニ講演を短く済ませて頂き、記念写真撮影、一本開めで閉会。来年は日曜日開催に戻し、40名以上参加頂ける楽しい企画を立案します。

山口県支部



日 時 令和元年7月28日(日)
 開催場所 紫水園
 本部派遣 桑原 利彦 先生
 参加人数 14名
 実施事項 派遣理事によるミニ講演会、支部総会、懇親会
 幹事・報告者 岡本 賢一(植防H4)

<幹事のコメント>

令和最初の支部総会は、周南市の西端に位置する湯野温泉での開催となりました。

まず、「地球を救う塑性学の理論と実際」と題して本部副理事長の桑原先生によるミニ講演会が行われ、自動車の部品を例に金属の塑性についてわかりやすく説明していただきました。

講演会後は御当地名物の温泉(泉質:含弱放射能硫黄泉、効能:高血圧、リュウマチ性疾患、糖尿病、皮膚病など)を堪能しました。温泉に浸かり、のどが潤いたところで支部総会…いやいや、我慢できずに懇親会に突入、のどを潤しながらの総会となりました。講演を引き受けてくださった桑原先生をはじめ、集まった支部会員の方も満足していただけたと思います。

老若男女を問わず楽しめるのが当支部です。山口県出身者・在住者の積極的な参加をお待ちしています。

鳥取県支部



日 時 令和元年11月23日(土)
 開催場所 水明荘
 本部派遣 千年 篤 先生
 参加人数 8名
 実施事項 ・平成30年度事業報告、会計報告について
 ・令和元年度事業計画(案)について
 ・報告:東京農工大学の近況および千年教授の活動について
 幹事・報告者 門脇 互(製糸S54)

<幹事のコメント>

総会では平成30年度事業報告と会計報告、令和元年度事業計画(案)を審議しました。出席者を増やすために開催時期の再検討など方策について有意義な意見交換ができました。

懇親会では、同窓会理事長の千年篤先生から「東京農工大学の近況および先生ご自身の研究や活動について」詳しくお話しいただきました。さらに、出席者からは学生当時の話や近況報告など、少人数ながら楽しい同窓会となりました。

これからも鳥取県在住の会員確認を行うとともに、より多くの会員に出席いただけるよう充実した楽しい支部にしたいと考えています。

農工通信の鳥取県支部報告をご覧になって、現在、鳥取県に在住で鳥取県支部からの連絡が無い皆様からのご連絡をお待ちしています。 E-mail:wkado2006@yahoo.co.jp

島根県支部



日 時 令和元年10月26日(土)
 開催場所 風のえんがわ(江津市後地町)
 参加人数 10名
 実施事項 令和元年度総会
 事業計画・事業報告
 幹事・報告者 松浦 史瑞(林産H元)

＜幹事のコメント＞

今年の総会は、東西に長い島根県の中央部にある江津市で開催しました。そのためか？ 約二十何年ぶりに出席された方や初参加の方、久々となる工学部出身の方の出席もありました。会場は、多田正哉氏（獣医S36）のご子息経営のカフェレストランとして、フランス仕込みの美味しいお料理をいただきました。お料理の一品に、当日は残念ながら、出席はかわなかった「有限会社はんだ」の反田孝之氏（環・資H6）が栽培された「はんだ牛蒡」のフリットを出して頂き、その「甘さ」に皆、驚いていました。楽しい会合は、あっという間に時間が過ぎ、翌年の再会を誓い散会となりました。

香川県
支部



日 時 令和元年10月19日（土）
 開催場所 リーガホテルゼスト高松
 参加人数 9名
 実施事項 1 開会・支部長挨拶集合写真撮影
 2 集合写真撮影
 3 役員改選・新支部長挨拶
 新支部長：鳥取 康治
 副支部長：笹田 布佐子
 副支部長：友時 好敬
 連絡員：遠藤 克彰
 4 次年度支部総会開催予定連絡：令和2年10月17日
 5 懇親会
 幹事・報告者 遠藤 克彰（機シスH24）

＜幹事のコメント＞

今年度は支部長を筆頭に支部役員の改選が行われ、新体制へと移行する節目の年となりました。
 続いて懇親会では参加者同士の近況報告や農工大の今昔話に花が咲き、あっという間に時が過ぎました。
 来年度以降も参加者10人以上を目指して頑張りたい所存です。

徳島県
支部



日 時 令和元年10月5日（土）
 開催場所 徳島市 ダイワロイネットホテル
 派遣理事名 池谷 紀夫 事務局長
 参加人数 5名
 実施事項 1 開会
 2 会長あいさつ
 3 来賓あいさつ
 4 議事
 (1) 収支報告
 (2) 農工大の近況について
 5 懇親会
 6 閉会
 幹事・報告者 小杉 純一郎（林学S63）

＜幹事のコメント＞

今年度は本部から池谷事務局長にご参加いただき、最近の大学の様子などについて教えていただきました。
 農学部で常設の産直市が出来たり、工学部に新しい建物が出来たり、近くのいなげやが無くなったり、時代の流れとともに変わる農工大の姿に思いをはせました。
 懇親会では大学時代の思い出や皆さんの近況などで話が弾み、楽しく有意義な同窓会になりました。

高知県
支部



日 時 令和2年2月29日（土）
 開催場所 高知会館
 本部派遣 野村 義宏 先生
 参加人数 15名
 実施事項 ・支部総会（活動報告、会計及び監査報告、支部規約の一部改正、支部活動への提案について）
 ・同窓会本部及び大学の近況について
 ・講演会「土佐日記の大湊をさぐる」
 ・懇親会
 幹事・報告者 豊田 陽一（蚕糸S57）

＜幹事のコメント＞

今回は、平成31年度卒の新会員の方や初めての参加の方、久しぶりの参加の方もおられ、また農工大を入学希望されている方や、以前講師をしていただいた方の参加もあり、久しぶりに2桁を超える人が集まり盛況に開催されました。
 講演会は、元高知県立歴史民俗資料館副館長の濱田真尚氏による「土佐日記の大湊をさぐる」でしたが、大湊はどこにあったのか？ということについて、これまで研究されてきた諸説と、地理的地質的知見と最近の発掘の知見を交えての興味深い内容の講演でした。

長崎県
支部



日 時 令和元年8月3日（土）
 開催場所 ホテルセントヒル長崎
 本部派遣 亀山 秀雄 先生
 参加人数 10名（+ 委任状提出 41名 = 計 51名）
 実施事項 ①支部総会、②研修会、③懇親会
 幹事・報告者 古賀 淳士（農学S52）

＜幹事のコメント＞

長崎県支部では2年間で活動単位とし、2年ぶりに総会を開催しました。
 総会では、前期（H29～30）活動と決算報告・一般社団法人化に伴う支部規約改正・今期（R1～2）活動と予算案・同役員案の4議案を協議承認。
 研修会では「母校の近況と地域連携の在り方」と題して、法人化後の状況や在学生の研究成果、地域連携研究への取組状況、等をお話し頂きました。
 懇親会では、S32卒からH17卒までの参加者が幅広く交流し、懇談しました。

熊本県
支部



日 時 令和元年7月27日（土）
 開催場所 KKRホテル熊本
 本部派遣 鈴木 創三 先生
 参加人数 24名
 実施事項 同窓会本部 第1回定時総会（2019年度）の概要報告
 平成30年度熊本県支部会計報告
 熊本県支部会員の動きについて報告
 幹事・報告者 永山 裕治（環保H元）

<幹事のコメント>

鈴木先生より、大学の近況や御自身の研究内容など紹介していただきました。先生のユーモアを交えた話題に、参加者からは終始笑いが絶えませんでした。

24名の会員が出席し、盛況な総会、懇親会となりました。支部会員の掘り起こし策として2年前から行っている県内在住会員宛ての総会案内ハガキ送付により、新たに1名が入会されました。最近入会した会員からは、「突然案内ハガキが届いて驚いたが、熊本県支部の存在を知り参加できて良かった」との話も聞きました。

また、昼間の総会・懇親会の開催にもかかわらず、本年度も多くの会員が二次会へと繰り出すなど、たいへん盛り上がったようです。来年もまた、多くの支部会員が元気に出席いただけることを祈念しています。

大分県
支部

日時 令和元年11月9日(土)
開催場所 JR九州ホテル プラッサム大分
参加人数 18名
実施事項 研修会、総会及び懇親会
幹事・報告者 川ノ上 実(生産H12)

<幹事のコメント>

大分県支部の令和最初の支部総会は、初めての試みとして、総会の前に、支部会員である二宮耕治氏(農学S50)が経営されている農園(大葉苗、水耕セリ、水稻など)を見学させて頂きました。二宮氏に概況などをお話しいただく中で、皆、和気あいあいの時間を過ごし、その後の総会と懇親会も例年以上に盛り上がりしました。

また、同窓会開催の案内状を送付する際に、諸先輩方より直筆の出席お誘いメッセージを添えるという、添え書き作戦を実施したところ、久しぶりに出席をしてくださった方や、出席できなくてもお電話をくださる方など、嬉しい反応もありました。

宮崎県
支部

日時 令和元年8月31日(土)
開催場所 宮崎観光ホテル 料亭山吹
本部派遣 野村 義宏 先生
参加人数 21名
実施事項 規約改正について
平成30年度実績及び会計報告について
令和元年度計画及び収支予算案について
役員選出
幹事・報告者 井之上 英行(農工H4)

<幹事のコメント>

総会では、「規約改正」「平成30年度実績及び会計報告」「令和元年度計画及び収支予算案」「役員選出」が承認されました。

また、当日は農学部の野村先生にお越しいただいて同窓会や大学の近況等について貴重なお話をさせていただきました。会員は大変興味深くお話を聴かせていただきました。

その後は、会員近況報告等で大変盛り上がった同窓会となりました。

鹿児島
県支部

日時 令和元年11月16日(土)
開催場所 寿庵 鹿児島中央駅西口店
本部派遣 野口 恵一 先生
参加人数 18名
実施事項 ①協議
平成30年度事業報告及び収支決算報告について
令和元年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
支部活動の検討(レクリエーションについて)
②交流会
幹事・報告者 平 繁人(養蚕S45)

<幹事のコメント>

今年は新会員2名の参加も含め17名(うち女性2名)の参加でした。

総会の中で、野口先生より進化しつつある母校及び同窓会の近況について紹介して戴きました。また、支部活動を活性化しようと検討しましたが、なかなか名案は出ず例年通りのゴルフコンペぐらいでした。

交流会では、まず出席者全員がそれぞれ近況を報告し、乾杯の後、老若男女が熱く語らい親睦を深め、次年度の再会を誓って散会となりました。

横浜会



日時 令和元年7月27日(土)
開催場所 華正樓本店
参加人数 7名
実施事項 2019年度横浜会総会
幹事・報告者 松島 稔(製糸S37)

<幹事のコメント>

当日、会長以下7名が出席し定刻に横浜会総会が開かれた。最初に児玉会長の挨拶があり、その後以下の議題が審議されそれぞれ承認された。

(1)平成30年度決算報告、(2)平成30年度監査報告、(3)本部総会出席者による本部総会報告、(4)支部役員の変更、新支部長 草野洋一氏(旧児玉満男氏)、新常任幹事 向恒雄氏(旧松島稔氏)

総会後、懇親会が開かれ児玉氏から現官房長官及び「韓国反日主義の起源」の著者松本厚治氏との交遊について、草野氏から音楽・海外旅行などの趣味に関する興味深い所感表明があった。その他出席者から昭和・平成の横浜地区のシルク産業の盛衰に関する貴重な体験談を聞くことが出来た。

静岡県支部総会(3/7開催予定)及び富山県支部総会(3/14開催予定)は新型コロナウイルスの影響により、やむを得ず開催が中止になりました。

同好会だより

※旧同好部会

農工大支援ネットワーク (AT-Netz)



学生の企業等社会的対応力の向上支援のため企業見学会を開催。(見学内容) 会社説明、施設、オフィス等見学(農工大先輩社員との懇談会) 学生2~3人の小人数に分け全く自由に懇談

1. (株)リコー (海老名事業所) AT-Netz第13回企業見学会 (見学日) 2019年8月6日、(参加者数) 8名、先輩社員4名
2. コニカミノルタ(株) (八王子サイト) AT-Netz第14回企業見学会 (見学日) 2020年2月13日、(参加者数) 15名、先輩社員4名

学生の見学感想 感想文提出 両社共に
・農工大先輩社員との懇談会が自由に気軽に多くのことを聞け、大変参考になった、また施設をはじめ、オフィスまで直に見学でき、いろいろ考える機会になった。等々
報告者 深水 智明 (織工S38)

農工音楽祭



令和元年11月30日(土)に第8回農工音楽祭を農学部講堂にて開催しました。音楽を通じた交流を目的に、教職員・学生・OB・OG他が出演し、一般の方も来聴されました。演目は以下の通りです。

1. Citizen of the Earth (留学生その他) 民族音楽
2. You@me (工学部卒) ユーミン、五つの赤い風船など
3. モダンジャズ研究会 (学生サークル) Jazz
4. 歌研究会 (学生サークル) Rock, J-POP
5. はいもうずRock
6. Drive Loose (教員・OB) ブルース
7. Deviban! (教員と学生) ロック
8. SKDシスターズ (教職員) 昭和歌謡
9. ありんこの家 (教員他) ラテンフュージョン

報告者 佐藤 俊幸 (共同獣医学科・准教授)

地域再生・地域活性化に東京農工大学の知的資源を活かすネットワーク

2019年度の当部会の総会・懇親会は3月28日に実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症への対応で開催を見送り、総会議事内容についてはメールで審議することにした。

総会議事

- (1) これまでの当部会の懇話会報告
- (2) 次世代グループ (S54~S60卒業生) との交流会
- (3) 会員以外にも呼びかける講演会等の検討

【2020年4月以降に予定する講演会】

講師: 阿部治氏 (環保S54) (立教大学社会学部教授、本会会員)
阿部治氏は、「国連ESD(持続可能な開発のための教育)の10年」の提言・取組や日本をハブとした環境、教育国際ネットワークの構築などを通じて、日本の環境教育の国際化ならびに世界の環境教育の発展に大きく貢献したことが評価され、日本自然保護大賞2020【特別賞】沼田眞賞を受賞されました。本会として、SDGs(持続可能な開発目標)に関わる、自然保護や生物多様性について、国際的な視野での講演をお願いすることにしました。
報告者 淵野 雄二郎 (農学S43)

農工大グローバル・コミュニケーション部会



2019年の活動内容は以上2件です。

5月12日: 留学生を交えたお茶摘み会、および緑茶作り講習
会場は本学OBの内野様が経営される茶畑(埼玉県飯能市)にて実施。
農工大の留学生12名が参加された。留学生出身国はガーナ、インドネシア、中国、フィリピン、ブラジル、マレーシア、オランダ、フランスの8カ国。
12月15日: 農工大グローバル教育院活動を後援し留学生と共にみかん狩り
会場は神奈川県小田原市の「かなごてファーム」、ここには耕作放棄地直前のみかん畑があり、年末の収穫期に世界各地から農工大に留学している学生たち約40名が勤労奉仕と美味しいみかんを求め一日を過ごすという催し物。
報告者 永田 春郎 (電気S47)

東京農工大学技術士会



定期総会ならびに技術経歴発表会を令和元年6月1日に農学部武蔵野荘ラウンジにて開催した(参加人数: 16名)。
発表者と演題は次の通り:
講演①「世界へ発信するオンラインセミナーの可能性」(熊坂治)、
講演②「回転センサとトルクセンサの話」(大塚謙一)、
講演③「この50年に私が体験した日本の物流」(齋藤正宏)。
また11月9日には例会を工学部生協にて開催した(参加人数: 10名)。
発表者と演題は次の通り:
講演①「霞が関の闘うSE集団」(吉川博晴)、
講演②「粉・粒を扱う業界の、課題と近未来」(吉原伊知郎)。
どちらの会もその後は同場所にて懇親会をおこない互いの親睦を深めた。さらに12月20日には農学部でおこなわれた公務員研究セミナーに出席した。
報告者 東田 英毅 (工博H19)

イノベーション研究会



日 時 令和元年6月29日(土)
開 催 場 所 本学工学部内 グリーンホール
参 加 人 数 講演会35名
実 施 事 項 第4回イノベーション研究会: 車社会の問題解決を目指して(講演及びデモンストレーション)
講演者: 本学大学院教授 毛利 宏氏
本学大学院准教授 和田 正義氏
報 告 者 菅野 茂樹(織高S49)

<幹事のコメント>

・第4回イノベーション研究会では、「車社会の問題解決を目指して」をテーマに、毛利先生による「ヒューマンエラーの原因を探る(ドライブレコーダーを用いた交差点事故の要因分析)」及び和田先生による「ジョイスティックで運転する自動車の開発(未来の車? いえ、もう走っている福祉車両です)」の講演が行われた。
各講演後、シミュレーター体験(毛利先生)とデモカーに乗車しての体験(毛利先生)が実施された。
・懇親会は大学生協会場で開催され、参加者の方々と懇親及び名刺交換が行われた。

クラス会だより

環・資生産工平成10年卒

環・資H10



日 時 平成31年4月27日(土)
 開催場所 新橋安曇野庵
 参加人数 15名
 幹事・報告者 中川 信次、稲葉 英毅・野口 里美(環・資H10)

<幹事のコメント>

卒業から20年の経過を機にクラス会を開催しました。10名の卒業生と、笹尾先生、澁澤先生、酒井先生、大里先生、西村先生にご参加頂きました。卒業生は民間企業勤務や公務員、医療系、専業主婦など様々集まり、大変楽しい会となりました。

今回連絡がつかなかった方、遠方につきご参加いただけなかった方も、次回ぜひご参加ください。次回は10年後くらいにまた開催できればと思いますので、連絡先が変更になった方は、都度同窓会事務局までご報告をお願いします。

獣医学科S30年ポプラ会

獣医S30



後列左より 恒成、中島、五明、市川、原、石坂、
 前列左より 恒成夫人、石坂夫人、中島夫人

日 時 令和元年5月23日(木)
 開催場所 台東区池之端 水月ホテル鴈外荘
 参加人数 6名(夫人の参加3名計9名)
 幹事・報告者 石坂 英夫(獣医S30)

<幹事のコメント>

ポプラ会は、卒業した昭和30年7月をスタートに42回目(15年は2回・内3回はブラジル・ハワイ・中国で開催)となりました。平成4年からは毎年欠かさず開催しています。卒業して64年、24名中10名が逝去され今年の参加者は8名の予定でしたが、直前に体調を崩されたりで2名が不参加となりました。夫婦の参加が3名の計9名でした。

会場のホテルは明治の文豪森鷗外の居宅があり「舞姫」を執筆されたゆかりの鴈外荘で、都内第1号の天然温泉で疲れを癒し遠く明治をしのびました。宴会では会員からの近況の回覧や参加者の報告で懇親を深め、その後ポプラ会を開き大学から取り寄せた原酒麦焼酎を味わい盛り上りました。

来年は皆米寿を迎えるし、卒業65周年のお祝いの会として開くことを決め、幹事には恒成さんをお願いいたしました。今年参加出来なかった会員も、みんな健康を維持し元気になって参加しようとし合わせ、楽しかった一夜を心にとどめ散会しました。

S46林学科宿泊クラス会

林学S46ほか



掛川城前で(前列左から渡部、大野、蓮尾、川口、大島、鈴木、大越、
 後列左から高橋、半田、井上、松本、佐野、和田、横堀、渡邊)

日 時 令和元年5月30日(木)~31日(金)
 開催場所 静岡県掛川市 真砂館ほか
 参加人数 15名
 幹事・報告者 大越 春司、和田 均・横堀 誠(林学S46)

<幹事のコメント>

掛川市在住の大越さんのご尽力で、同市で宿泊クラス会を行いました。掛川城やクズ布の店を訪問し、夜は美しいホタル乱舞を観察、2日目は事任(コトノママ)神社の参拝、資生堂企業資料館、花園園の見学と、たいへん盛りだくさんの2日間でした。

工学部繊維工学科S45年卒業クラス会

織工S45



日 時 令和元年6月6日(木)
 開催場所 1部:工学部見学ツアー
 2部:懇親会・魚民新宿本店
 参加人数 1部:9名 2部:15名
 実施事項 母校見学・同期クラス会・情報交換と懇親会
 幹事・報告者 川合 豊彦、近内 篤雄、
 木村 憲行・田村 誠一(織工S45)

<幹事のコメント>

令和元年に相応しい企画として2部構成で①部は卒業以来疎遠であった母校を半世紀振り見学です。同窓会繊維・有機材料部会長の千田様のご案内で旧工学部本館利用の日本の繊維の歴史・科学博物館や卒研時利用の4号館等見学。近代的様相のキャンパスに発展で納得。移動し懇親会、近況報告、情報交換、質疑応答と活気ある盛り上がった内容で皆さん満足の充電でした。

次回幹事は太田、松永アシスト、田村が計画で承認され、次回再会を約束して散会しました。皆さん元気で更に健康長寿目指し頑張りましょう。

農工大機械81会

機械S56(S52入学)



後列左から 上原、辻田、表、山崎、増田、
 前列左から 阿部、田巻、小山内、大野

日 時 令和元年7月27日(土)～28日(日)
 開催場所 長野県諏訪郡原村 八ヶ岳山麓ロッジ
 参加人数 9名
 実施事項 親睦
 幹事・報告者 阿部 典之(機械S56)

<幹事のコメント>

クラス全員が還暦を過ぎましたが、まだ現役で仕事が忙しい方もいて、少数でしたが、宿泊では6年ぶりのクラス会で、10年ぶりの八ヶ岳山麓ロッジに集まり親睦を深めました。
 当会は東京で不定期に懇親会を開催しているので、ご参加ください。
 尚、クラスの方は連絡先を、幹事阿部(abenori-58@nifty.com)まで連絡ください。

202会

農業生産工学科昭和41～45年卒の有志



日 時 令和元年8月26日(月)
 開催場所 新宿東口 ライオン会館安具楽
 参加人数 14名
 実施事項 年2回の集まり、お互いの近況を確かめ合い、和やかに楽しいひと時を過ごす。
 幹事・報告者 大久保 允文(農工S41)・加藤 誠(農工S44)

<幹事のコメント>

202会では、大久保幹事のお世話で、年2回の懇親会を新宿のこの店で開いています。
 今回は“暑気払い”の会です。各自、近況の話をしますと、所定の2時間は瞬く間に過ぎます。また、皆さん、年相応のあちこちの不具合も持っておられるようですが、なかなか元気ものも多く、ゴルフの打ち合わせなど、しておられました。習慣で朝の早い人が多く、散歩など、健康に心がけ、おいしい酒がいつまでも飲めるよう努力しておられます。
 今回欠席された202会会員の井関善民氏(農工S41)はこの(2019年)8月30日に逝去されました。冥福を祈ります。

農業生産工学科S40クラス会

農工S40



日 時 令和元年9月30日(月)
 開催場所 青梅石神温泉 清流の宿 おくたま路
 参加人数 11名
 実施事項 祝 喜寿
 幹事・報告者 平林 弘義(農工S40)

<幹事のコメント>

初秋の9月末日、東京の奥座敷、奥多摩は青梅の温泉(清流の宿「おくたま路」)にて行い、今年で皆元気に喜寿を迎え、節目の記念すべきクラス会となりました。
 残念ながら体調不良・不都合等で、連絡可能者23名中、出席者11名と半数の参加となりましたが、ひと風呂後の宴会は、各々の近況等にて盛り上がり、少人数ながら密度のある内容となりました。西川内閣官房参与も加わった部屋にての2次会は、農工大ブランド「賞典禄」を味わいながら、学生時代の秘話、政治経済問題、朝鮮半島問題、ラグビー WC2019東京大会などトークバトルが夜遅くまで繰り広げられました。
 朝食後、次回のクラス会を確認し、宿近傍の奥多摩渓谷を散策後、元気に再会を約し散会しました。

第三回東京農工大学林S41入S45卒同期会

林学S45 (S41入学)



日 時 令和元年10月19日(土)
 開催場所 東京農工大学50周年記念ホール
 参加人数 14名
 実施事項 林学S41入S45卒同期会
 幹事・報告者 渡辺 広士、宮本 泰成・一島 正三(林学S45)

<幹事のコメント>

5年ぶりに第3回同期会を開催しました。今回は母校での開催、皆さんは50年数年ぶりで、懐かしいのと、大変な変わりようにビックリしておりました。
 宮本君の司会で、最初に物故者に全員で黙とうを行い、各自の学校での思い出・社会での過ごし様、現在の過ごし様又体調の変化等々面白おかしく話されて時間がたらない状況で、瞬く間に終了となり、最後に林学科のペロリ節・渡良瀬逍遙歌を歌い、お土産として農工大の焼酎・賞典禄を皆に配り、またの再会を期して終了となりました。

農業生産工学科「再会S85(S42+S43)」

農工S42卒・S38入学同期・S43卒有志



日 時 令和元年11月7日(木)
 開催場所 新潟県湯沢町 湯沢グランドホテル
 参加人数 「紙上再会」26名、「懇親会」12名
 実施事項 近況報告、情報交換、現状報告、懇親会
 幹事・報告者 星野 浩一(農工S42)

<幹事のコメント>

皆が後期高齢者となった。今回は入学同期者及びS43年卒の有志にも声をかけて(総勢26名で)開催することにした。まず、全員参加の「紙上再会S85」として、各位の近況を報告し合う。
 懇親会では新同窓会会長となった栗原氏から、各地域支部で農工科卒者が頑張っている旨の報告があり励みになった。
 「後期高齢者であるが、元気なうちに何度もやろう!」という意見が出て、来年も開催することになる。この結果を受けて、健康理由の欠席者からは「健康に留意し、来年は是非参加する。」という旨の連絡もきた。

つきみ会 (農業生産工学科S52卒業) 同期会

農工S52



日 時 令和元年11月8日(金)～9日(土)
 開催場所 信州たかもり温泉 湯が洞
 参加人数 8名
 実施事項 近況報告、懇親会、りんご狩り
 幹事・報告者 代田 雅夫(農工S52)

<幹事のコメント>

数年をあけて不定期に開かれているこの同期会は、今回は都会を離れて長野県南部の高森町で開催しました。金曜日集合のこともあり20名のうち8名の参加となりました。

還暦を過ぎてそれぞれに次の人生を歩んでいます。顔を合わせれば昔の学生時代に戻り、夜遅くまでいろいろな話題で盛り上がりました。次の日は青空のもとで、赤いりんごを食べながら収穫するりんご狩りを楽しみました。次回を「古希」での再会と約束して、ちょっと重いお土産を持ちながらの散会となりました。

昭和55年卒業 東京農工大農業工学科同窓会

農工S55年他



日 時 令和元年11月9日(土)
 開催場所 館山寺温泉 ホテル九重 萩園の間
 参加人数 19名
 幹事・報告者 小西 富士男、渡邊 文洋(農工S55)・
 今枝 達男(農工S56)

<幹事のコメント>

昨年の山口市での同窓会に引き続き、今年は浜松市の館山寺温泉にて19名の参加を得て開催することが出来ました。宴会では、各自の近況報告、鈴木さんの津軽三味線等の演奏で瞬間に過ぎ、次回は東北で開くことを決めてお開きとなり、ホテルラウンジでのチェロの生演奏やカラオケに興じた後は、部屋飲みが遅くまで続きました。

今年の秋は東日本で豪雨災害がありましたが、当日は天候に恵まれ、前泊してゴルフをしたグループ、奥様連れの方、遠方からドライブしてきた人等、それぞれの楽しみ方をされていました。来年以降も同窓生のいる各地でこのような集まりを続けていきたいものです。

昭和39年度入学の林学科のクラス会

林学S39入学

開催日 令和元年11月26日(火)
 開催場所 新宿
 参加人数 11名
 幹事・報告者 小林 三四郎(林学S47)

<幹事のコメント>

昭和39年度入学の林学科のクラス会を、11月26日、新宿で開催し、11名の出席がありました。会場入口で、顔を会わせた時は、えっ、誰、状態でしたが会場に入って5分もしないうちに、すっかり学生時代に戻り、和気あいあいとした雰囲気になり、あっという間の2時間でした。

二次会は、カラオケボックスに席を変えたのですが、そこでも、まだ話が続き、歌など歌う状況になりませんでした。三次会まで流れ込んだ次第です。大変盛り上がり、是非とも来年もう一度開催しようという事になりました。

同窓会事務局の皆様、おかげさまで、本当に楽しいクラス会を開くことができました。有難うございました。

第2回シオノギ東京農工大同窓会

日 時 令和元年11月29日(金)
 開催場所 個室和食 ほたる 北新地駅前店
 参加人数 8名
 実施事項 親睦、近況報告
 幹事・報告者 間中 敦史(応化H13)

<幹事のコメント>

2018年6月に第1回シオノギ東京農工大同窓会を開催し、本同窓会は発足しました。本同窓会はシオノギ内の人脈ネットワークで農工大OB/OGを探しており、現在は11名から構成されています。今後も継続的に親睦を深めたいと考えていますので、他にもシオノギの農工大OB/OGの方がおられましたら、ご連絡を頂ければと思います。

2回目となる今回は同窓会から池谷事務局長にご参加頂き、農工大の近況について詳しくご紹介して頂きました。学生時代の記憶とは異なる、進化した農工大に触れることができました。その後は互いに近況報告し、普段は関わりがない社内の仕事についても理解を深めることができました。農工大OB/OGの方の活躍を改めて聞くことができ、とても刺激的な時間を過ごすことができました。

TUAT工化S47卒の親睦会

工化S47



開催日 令和元年11月30日(土)
 開催場所 日本橋 酒席いづみや
 参加人数 19名
 実施事項 親睦、近況報告
 幹事・報告者 豊田 務(工化S47)

<幹事のコメント>

卒業以来、年末に新宿で開催していましたが、現在は11月末の土曜日、東京駅周辺で12時から3時間飲み放題で開催しています。平成25年からは宿泊旅行も始め、令和元年6月2日-3日には水上温泉で開催、11名が参加、土合のモグラ駅やノ倉沢の散策を楽しみました。

現在の親睦会は、5月末の宿泊旅行(約10名)と11月末の親睦会(約20名)と年2回開催しています。

親睦会の名簿を作成、親睦会の案内と共に、遠方で参加できない方にもメールによる近況報告も行っていますので、登録を希望される方は幹事までご連絡下さい。toyoda@rhythm.ocn.ne.jp



千葉学長就任

2020年4月1日、千葉一裕先生が本学学長に就任しました。農学部教員から学長が着任するのは2001年4月に退任された梶井功学長以来になります。就任早々、新型コロナウイルス対応に追われていますが、学長裁量経費を用いてインターネット環境に不安のある学生にはWi-Fiルーターを貸し出したり、生活要支援の状態となった学生に対し返済不要の緊急支援奨学金を給付したりと、迅速な学生ファーストな判断は大変頼もしく感じました。今後の新学長のご活躍を楽しみにしています。

オンライン講義の導入

新型コロナウイルスの影響により、昨年度から今年度にかけては卒業式・入学式などの式典の中止および4月からの講義もオンラインで対応しています。学生も教員もオリエンテーションや講習会を繰り返し、慣れないオンライン講義に四苦八苦しながらも、現時点(5月末)ではなんとか軌道に乗ってきたところです。特に新1年生は、一度も大学に足を運ぶこともなく、同級生と顔を合わすこともなく始まった新年度でしたが、先日オンラインで班面談を行った際には慣れないながらもこれからの大学生活を楽しみにしている様子がうかがえました。2020年度前期の学部の講義は基本的にオンラインでの実施が決まりましたが、この同窓会会報が発行される頃には落ち着いていることを願います。

プラスチック削減のための5Rキャンパス、進行中

昨年8月に「農工大プラスチック削減5Rキャンパス」の宣言を行いました。これは、SDGsの達成および2050年石油ベースプラスチックゼロに向けて、使い捨てプラスチックの削減と、課題解決のための新素材の創生等を含めた研究の推進を目標としたものです。

宣言以降、昨秋には生協購買部等の学内販売におけるレジ袋の有料化やマイボトル用給水器の設置が行われ、この春からは学内の自販機でペットボトル飲料の販売がなくなりました。農工大に足を運ばれた際には、ぜひこうした取り組みもチェックしてみてください。

2020年度 WEBオープンキャンパス in June

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年、6月に開催している「キャンパスツアー・キャンパス体験」をWebオープンキャンパスとして開催しました。普段のキャンパスライフを、高校生、高専生、本学を志望する方、保護者の方に体験していただくことを目的に、キャンパス案内、学科の魅力、農工大何でも質問コーナー等の動画配信を行うとともに、「Webカフェ」と銘打ち、オンライン会議システムZoomを使った来訪者とのライブトークも行いました。

慶 弔

(敬称略)

慶 事 お祝い申し上げます

令和元年秋の叙勲

小畑 秀文 (元学長)

瑞宝中綬章

弔 事 ご逝去を悼み、衷心よりご冥福をお祈り申し上げます

元工学研究院 教授	涌井 伸二		農化	富山 浩明	(S34)	教婦	小田切勝子	(S19)
農学	藤津 泰彦	(S16)		金児 克忠	(S44)	繊維	岩下 良則	(S19)
	粕川 成一	(S20)	林産	時田 聖也	(H4)	紡織	戸坂 浩	(S23)
	地平 寛治	(S32)	林学	西沢松太郎	(S17)		浅沼 寛	(S23)
	國安 克人	(S35)		沖村 義人	(S19)		沼野 良平	(S25)
	石森 道雄	(S47)		田中 師雄	(S29)	織工	横溝 清	(S28)
農甲	田嶋 統樹	(S23)		井上 森雄	(S32)		氷見谷洋一郎	(S40)
農乙	荒田 久	(S22)		岩谷 弘一	(S45)	織高	永瀬 利明	(S48)
	太田 欣一	(S23)	農土	南山 勇	(S26)	織化	高野日出男	(S23)
	金子 末賀	(S23)		安井 清	(S26)		長谷川利明	(S23)
生物	平野 耕平	(S23)		浜口 清照	(S41)		菅谷 功	(S28)
農改	薄井 清	(S41)	獣医	橋本健次郎	(S18)		板垣 岑於	(S35)
養蚕	宇都宮 昇	(S24)		岩槻 和男	(S31)	工化	中島 潔	(S41)
	藤井 亨	(S26)		磯村 正	(S40)	資源	原 昭太	(H2)
	亀田 四郎	(S29)		高橋 春男	(S40)	機械	佐藤 進	(S44)
	高橋 謙吉	(S29)		竹澤 順一	(S45)	電気	藤森 英男	(S43)
	宮下 陽里	(S31)		山口(小松)夏子	(S49)	電子	堀口 雅直	(S52)
	阿久澤浄巳	(S31)		中野 宣夫	(S50)		古永 政幸	(H5)
	玉利 武英	(S32)	獣畜	岩野 有方	(S24)	物生	和田(石田)絹代	(H8)
養蚕/糸別	原田 武	(S32/S27)	製糸	西本 次郎	(S15)	分子	中村 敏志	(H23)
養実	井上 敏男	(S13)		折原 勤治	(S16)	応化	重松 亮	(H12)
	松木 昇睿	(S23)		石原(川名)勇治郎	(S18)	化シス	荳戸 和幸	(H21)
	上岡 政美	(S24)		水口 安典	(S20)			
織農	赤木 昭治	(S22)		石井 孝行	(S28)			(学科、卒年順)
	横山 清	(S23)		大野 克躬	(S29)			
	田中 胖	(S25)		瀬川 稔	(S34)			
農化	植木 典生	(S25)		田村 邦汎	(S44)			
	滝沢 宏夫	(S32)	教婦	菅原(藤本)富美	(S14)			

※訃報の掲載は2019年8月以降ご連絡をいただいた方（ご家族から掲載の許可をいただいた方）を掲載しています。

株式会社 八木製作所

創 業：1963年(昭和38年)

所 在 地： **本 社** (JR中央線豊田駅徒歩1分)

東京都日野市豊田4-36-16

八王子工場 (JR中央線八王子駅バス7分徒歩3分)

東京都八王子市大和田町3-4-17

八王子第二工場 (JR中央線八王子駅バス7分徒歩5分)

東京都八王子市大和田町1-21-12

業務内容：事務機器、光学機器、医療機器等の部品の精密加工及び
治具の設計・製作・組立

H P : <http://www.yagiseisakujo.co.jp>

MAIL : support@yagiseisakujo.co.jp

困った時も八木製作所!

幹事さんのお手伝いをいたします! 幹事さん、受付楽々!

同窓会を開こう!

還暦同窓会・支部会

部活動OB・OG会

同 期 会

ご相談ください!

☆まずはお気軽にお問い合わせください!

同窓会支援事業部

TEL.097-556-4141
<http://dousou.info/>

映像に感動を! 写真にインパクトを!

ドローン空撮 承ります!

4K品質

ステル・動画



周年行事等の記念に!
自社PR素材として!



※大阪航空局より、
全国包括・飛行に係る許可・承認済

Youtubeで
動画公開中!



☆まずはお気軽にお問い合わせください!
ドローン空撮についてのお問合せ先

TEL.097-558-3444
https://www.ohp.co.jp/cre_drone

小野高速印刷株式会社

心を動かすメディアを創造する
TEL.097-558-3444
<https://www.ohp.co.jp>

CATERING

PLAN

パーティー
ご宴会は

サンテリアで!!

忘年会・新年会・歓送迎会・同窓会・謝恩会など各種パーティー
公共施設・会社でのご用命はサンテリアのケータリングサービスを

お客様にふさわしい雰囲気で作りのおいしい料理と楽しいお酒を
ご要望に合わせたスタイルでご調整いたします。

TELEPHONE

042-368-6368

HOMEPAGE

<https://santgria.jp/>

ADDRESS

東京都府中市本町1-1-7



事務局だより

1. 会費納入のお願い

同窓会はみなさまからの会費で支えられています。
本会の維持・活動のために会費納入にご協力をお願いいたします。
会費は次の通りです。

1. 終身会費 30,000円

2. 年会費 1,500円 (年会費は年度4月～3月を1年としています。)

同封の払込票にて、上記いずれかの金額を納入してください。会費を納めていただくと「正会員」になります。

◇農工通信に払込票が同封されていない方は納入済です。 ◇過去に遡って納入の必要はありません。

※7月中旬時点のデータに基づいておりますため、行き違いで既にご入金いただいておりますらご容赦ください。

※振替口座番号が新しくなりました。同封の払込票をご利用ください。

2. 住所等の変更・メールアドレスの新規登録について

農工通信は、ご登録いただいているご自宅住所にお送りしております。転居等で住所等、登録内容の変更があった場合は、同窓会事務局までご連絡願います。

また、メールアドレスを登録いただきますと、各種連絡がスムーズに行えますので登録をお願いいたします。

登録内容の更新・変更は、同窓会ホームページ「入会・会員情報」の「会員情報の変更」からもお手続きができます。

なお、同窓会が保有している会員の個人情報の公開については、ご本人の意向に沿って管理・運営し、個人情報保護には万全を期しております。



3. 会員情報提供について

平成22年5月『同窓会会員名簿』発行の廃止に伴い、個人情報の提供につきましては、部会・支部・クラス会からの依頼により、従来の会員名簿に替わるサービスを行っております。

詳しくは同窓会ホームページ「入会・会員情報」の「会員情報提供について」をご覧ください。



4. 「本学学生への就職支援」就職先情報提供のお願い

同窓会では就職支援の一環として、就職活動中の在学生に対し、みなさまの勤務先と氏名の情報提供をしております。在学生への情報提供を希望しない場合は、**2020年10月末日までに、同窓会ホームページ「会員情報」または、同封の「住所・勤務先変更連絡票」にてお知らせください。ご連絡がない場合は了承されたものとして、就職情報を在学生に提供させていただきます。**なお、過去にお知らせいただいている情報提供の可否に変更がない場合は、改めてご連絡いただく必要はありません。

5. 新型コロナウイルス禍でお困りの同窓生へ

新型コロナウイルス禍は、われわれ東京農工大学同窓生にとっても、まさに災害であると思います。

同窓会では、厳しい状況にある会員のみなさまに何か支援できないかと思案しております。ご支援できることは限られるとは思いますが、先ずはお困りのことがございましたら、同窓会事務局にご相談くださいれば幸いです。

第2回代議員選挙について

選挙管理委員長 峰松 敏夫

現在の総会代議員の任期満了（来年の定時総会終了時まで）に伴う、第2回代議員選挙についてお知らせします。10ページにあるように今回から選挙実施方法が変更になります。

まず、下記の代議員候補者を11月上旬までに確定します。会長候補者を除く代議員候補者が代議員定数242名に達した場合は、前回と同じように被選挙人名簿を作成して、農工通信後期号配布時に投票用紙を同封いたします。

達しない場合は、投票を実施することなく候補者全員を当選とします。その旨、農工通信後期号（100号）配布時にお知らせします。

記

- ① 部会推薦代議員候補者：理事会が提案する会長候補者1名以上、部会長候補者（副会長候補者）21名及びその他の部会推薦候補者
 - ② 支部推薦代議員候補者：支部長候補者48名及び支部推薦候補者
 - ③ 立候補代議員：立候補を申し出た正会員50名以内
- 部会推薦代議員候補者及び支部推薦代議員候補者については各部会、支部に候補者の推薦をお願いします。立候補代議員については、同窓会ホームページに掲載する応募用紙を同窓会事務局に9月30日までに提出してください。

会長候補者の公募について

東京農工大学同窓会 理事会

上記「第2回代議員選挙について」の上記①で会長候補は理事会が提案するとされています。今回の選挙から、下記の方法で立候補を公募します。立候補者がいない場合は、理事会を中心に調整して候補者を選出します。

記

- ① 立候補者は5名以上の正会員の推薦を必要とします。
- ② 応募する場合は、同窓会ホームページに掲載する応募用紙を同窓会事務局に9月30日までに提出してください。

ホームページをご覧になれない場合は、同窓会事務局までお気軽にお問い合わせください。

編集後記

Editor's note

広報・情報部長 亀山秀雄（化工S48）

農化院S58卒の同窓生である千葉一裕先生が学長を務める東京農工大学を同窓会としてできる限りの支援をしたいと考えています。そんな中で、この99号が示している二重苦(99)が生じています。

新型コロナウイルス苦と集中豪雨苦です。そこで同窓会としては、修学困難学生支援のために特定目的事業財産から500万円の寄付を行い、さらに東京農工大学基金活動を大学と同窓会で連携して行っていくこと

にしています。是非、同窓生の皆様からも同封の募金用紙により在学生のために基金への協力をお願いいたします。また、令和2年7月豪雨で激甚災害地域と指定された県の皆様には、当該地域の同窓生へ支部と本部が連携してお見舞いを考えたいと思いますので、支部から本部に正確な被害情報の提供をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染対策による外出規制のため、本部から支部総会に参加し難い状況が続いています。支部総会は大学や本部と支部とをつなぐ重要な機会ですので、WEB参加など新しい参加方式も考えて、できるだけ参加したいと思いますので本部と相談してください。

農工通信 第99号

発行日 令和2年（2020年）8月1日

発行所 一般社団法人 東京農工大学同窓会

連絡先 〒183-8538 東京都府中市晴見町3-8-1 （一社）東京農工大学同窓会事務局

TEL 042 (364) 3328 FAX 042 (335) 3500

e-mail info@tuat-dousoukai.jp URL https://tuat-dousoukai.org/

振替口座 00120-8-265877番 加入者名 一般社団法人 東京農工大学同窓会

印刷所 小野高速印刷株式会社

〒870-0913 大分県大分市松原町2-1-6

お中元、お歳暮、贈り物に最適
 部会、支部会、同窓会でも
 ぜひご賞味下さい。

[しょうてんろく]
賞典禄
 農工大ブランド本格焼酎

本学では、農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター（FSセンター）で栽培した原料（米・芋・麦）をもとに製造した農工大ブランドの本格焼酎「賞典禄（しょうてんろく）」を販売しています。
 「好評いただいております」「賞典禄（しょうてんろく）米・芋・麦の本格焼酎に加えて、芋・麦の熟成した原酒もそりい踏みとなり、ますます品ぞろえが豊富になりました。」
 この原酒は、本格焼酎の個性そのものが凝縮されている焼酎で、一味違う深い味わいを楽しめますので是非ご賞味下さい。



原酒 (麦) 米焼酎 芋焼酎 麦焼酎 長期貯蔵酒 (米)

酒類販売管理者標識

販売場の名称及び所在地	東京農工大学農学部フィールドサイエンスセンター 東京都府中市幸町3-5-8
酒類販売管理者の氏名	本 林 隆
酒類販売管理研修受講年月日	平成 29 年 8 月 30 日
次回研修の受講期限	平成 32 年 8 月 30 日
研修実施団体名	社団法人 日本ボランティア・チェーン協会

賞典禄 FAX 注文票 以下のとおり注文します。

東京農工大学 FS センター 宛 FAX : 042-367-5801

【ご注文内容】

		年	月	日
原酒 麦焼酎 (2,500 円) 43 度 720ml	本			
長期貯蔵酒 米焼酎 (1,800 円) 40 度 720ml	本			
焼酎 米・芋・麦 3 種セット (4,200 円) 25 度 720ml×3	セット			
合計注文金額				円

【ご注文者様情報】

お名前		フリガナ	
住所	〒		
電話番号		FAX 番号	
生年月日	T.S.H	年 月 日	

※年齢確認をさせていただく場合がございますのでご了承願います。

- 【ご注意】
- ※ 1 お支払いは代金引換またはクレジットカードになります。詳しくは下記 URL をご覧下さい。ただし、FAX でご注文された場合のお支払いは、代金引換のみとなりますので、ご注文者様以外への配送は致しかねます。
 - ※ 2 ご注文いただいた上記金額の他に、送料 (5,000 円以上は無料) 及び代金引換手数料 (代金引換額に応じた所定の金額) が必要になりますので、予めご了承願います。
 - ※ 3 本注文票により収集された個人情報、賞典禄の販売以外の目的には使用いたしません。

ネットショップ : FS センター農工夢市場ネットショップ

<http://www2.enekoshop.jp/shop/noukoudai/>

問い合わせ先

農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター事務室

TEL042-367-5811